新日軽

施工説明書番号 ME-1751
改－4

渡り廊下屋根「スカイパス」
傾斜用ユニット 施工説明書

●この度は、当社製品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
●本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

◎設置場所・位置について

●ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離（はくり）、また排気ガスによる腐食の原因になります。

◎施工時の注意事項

●モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
●モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
●アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
●腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
●埋込柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
●モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
●施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
●基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。
●地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
●養生期間は十分（４日～１週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
●改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

⚠注意

●各ボルト・ビス類は、確実に締め付けてください。
●無理にボルト・ビスを締め付けないでください。破損の原因となります。

本説明書では、スカイパス本体との共通項目については、スカイパス本体の施工説明書を参照するように示しています。
・両支持の場合　⇒　[ME-1750] を参照
・片支持の場合　⇒　[ME-1777] を参照

もくじ

梱包明細 2
各部の名称 3
納まり図 4
★1．基礎の施工（※エンド庇納まりの場合） 9
★2．柱部品の取付け（※エンド庇納まりの場合） 9
3．桁の取付け（※エンド庇納まりの場合） 9
4．桁の連結 10
4－1 施工前の確認 10
4－2 桁の連結 11
★5．垂木の取付け 13
★6．側枠の取付け（※エンド庇納まりの場合） 13
★7．桁の本締めとコンクリートの打ち込み（※エンド庇納まりの場合） 13
8．中骨の取付け 14
8－1 施工前の確認 14
8－2 中骨の取付け 16
9．屋根材の取付け 17
9－1 施工前の確認 17
9－2 屋根材の取付け 18
10．雨樋の取付け（※エンド庇納まりの場合） 19
10－1 両支持の場合 19
10－2 片支持の場合 20
★11．縦樋カバーの取付け（※エンド庇納まりの場合） 20
施工工事店様、販売店様へのお願い 20

★印の項目については、スカイパス本体の施工説明書 [ME-1750] または [ME-1777] を合わせて参照してください。

梱包明細

●施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
●説明書に記載している部材・部品 (ビス含) 以外は使用しないでください。

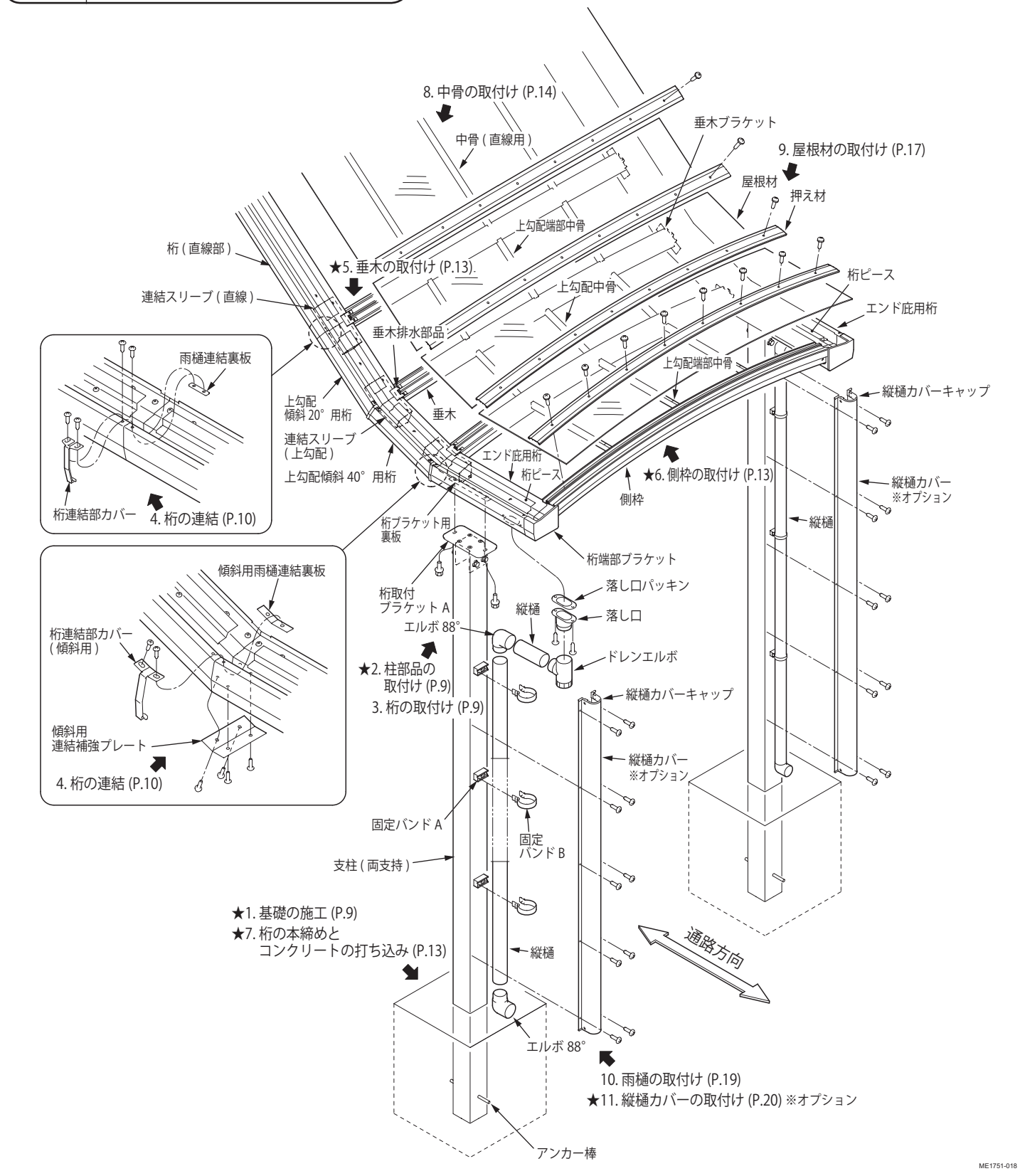
表内の（　）は個数を表しています。※はアップ（上勾配）のみ含まれます。

梱包名称			梱包内容	備考
両支持柱セット	2 本入り	標準柱	標準柱（2）・桁ブラケットセット（2）[桁ブラケット B（1）・M8 × 18 六角セムスボルト（4）]	両支持の場合
		長柱	長柱（2）・桁ブラケットセット（2）[桁ブラケット B（1）・M8 × 18 六角セムスボルト（4）]	
	1 本入り	標準柱	標準柱（1）・桁ブラケットセット（1）[桁ブラケット B（1）・M8 × 18 六角セムスボルト（4）]	
		長柱	長柱（1）・桁ブラケットセット（1）[桁ブラケット B（1）・M8 × 18 六角セムスボルト（4）]	
片支持柱セット	1 本入り	標準柱	標準柱（1）	片支持の場合
		長柱	長柱（1）	
片支持ジョイナーセット			片支持ジョイナー（1）・M8 × 25 六角セムスボルト（12）柱固定裏板（4）・M10 × 25 六角セムスボルト（8） 桁･桁受け梁ブラケット（1）・φ 4 × 19 セルフドリリングビス（4）・片支持梁キャップ（2）・φ 4 × 12 トラスタッピン 3 種（4）	
桁取付部品セット			アンカー棒（2）・桁取付ブラケット A（2）・φ 6 × 20 皿タッピン 3 種（8） M8 × 18 六角セムスボルト（4）・桁ブラケット用裏板（2）	
傾斜用束柱セット			傾斜用束柱（上下各 2）・M10 × 50 六角ボルト（2）・M10 用平座金（4）・M10 用バネ座金（2）・M10 袋ナット（2） 桁取付裏板（2）・M8 × 25 六角セムスボルト（4）・φ 6 × 25 トラスタッピン 3 種（8）・アンカー棒（2）	
桁・中骨セット	エンド庇	アップ 20°	エンド庇上勾配傾斜 20° 桁（左右各 1）・上勾配傾斜 20° 桁（左右各 1）・桁ピース A/B（各 2） 上勾配端部中骨（6）	
		アップ 40°	エンド庇上勾配傾斜 20° 桁（左右各 1）・上勾配傾斜 40° 桁（2）・上勾配傾斜 20° 桁（左右各 1） 桁ピース A（2）・桁ピース B（4）・上勾配中骨（3）・上勾配端部中骨（6）	
		ダウン 20°	エンド庇下勾配傾斜 20° 桁（左右各 1）・下勾配傾斜 20° 桁（左右各 1）・桁ピース A/B（各 2） 下勾配端部中骨（6）	
		ダウン 40°	エンド庇下勾配傾斜 20° 桁（左右各 1）・下勾配傾斜 40° 桁（2）・下勾配傾斜 20° 桁（左右各 1） 桁ピース A（2）・桁ピース B（4）・下勾配中骨（3）・下勾配端部中骨（6）	
	傾斜ジョイント	アップ 20°	上勾配傾斜 20° 桁（左右各 2）・桁ピース B（4）・上勾配端部中骨（6）	
		アップ 40°	上勾配傾斜 40° 桁（2）・上勾配傾斜 20° 桁（左右各 2）・桁ピース B（6）・上勾配中骨（3）・上勾配端部中骨（6）	
		ダウン 20°	下勾配傾斜 20° 桁（左右各 2）・桁ピース B（4）・下勾配端部中骨（6）	
		ダウン 40°	下勾配傾斜 40° 桁（2）・下勾配傾斜 20° 桁（左右各 2）・桁ピース B（6）・下勾配中骨（3）・下勾配端部中骨（6）	
垂木セット	3 本入り		垂木（3）・押え材（3） 屋根材取付用ビスセット（1）[φ 4 × 12 ゴムワッシャ付セルフドリリングビス（24/36/45 ※）] 垂木ブラケットセット（1）[垂木ブラケット（6）・φ 5 × 20 トラスタピン 3 種（24）] 垂木排水部品セット（1）[垂木排水部品（6）・φ 4 × 13 セルフドリリングビス（12）]	
	2 本入り		垂木（2）・押え材（2） 屋根材取付用ビスセット（1）[φ 4 × 12 ゴムワッシャ付セルフドリリングビス（16/24/36 ※）] 垂木ブラケットセット（1）[垂木ブラケット（4）・φ 5 × 20 トラスタピン 3 種（16）] 垂木排水部品セット（1）[垂木排水部品（4）・φ 4 × 13 セルフドリリングビス（8）]	
部品箱	エンド庇	アップ 20° ダウン 20°	桁端部ブラケット（左右各 2）・φ 4 × 14 トラスタッピン 3 種（12） 桁連結スリーブ（2）・桁連結スリーブ（上または下勾配）（2）・φ 4 × 19 細目セルフドリリングビス（32） 傾斜用連結部品（2）・雨樋連結裏板（2）・φ 4 × 14 トラスタッピン 3 種（8）・止水パッキン（桁連結部）（4） 桁連結部カバー（コーナー用）（2）・桁連結部カバー（傾斜用）（2）・連結補強プレート（2） φ 4 × 19 細目セルフドリリングビス（8）・φ 5 × 20 トラスタッピン 3 種（8） 中骨取付金具（6 ※）・φ 4 × 10 トラスタッピン 3 種（6 ※）・止水パッキン（傾斜用）（2） 雨樋部品セット（両支持 2・片支持 1）[落し口パッキン (2)・落し口（1）・エルボ 88°（2） 固定バンド A（3）・固定バンド B（3）・水抜き穴塞ぎ（1）・接着剤（1）・φ 4 × 12 トラスタッピン 3 種（4） φ 4 × 19 セルフドリリングビス（3）・ドレンエルボ（1）] 傾斜用雨樋部品セット（2）[落し口パッキン (2)・落し口（1）・エルボ 88°（2） 固定バンド A（3）・固定バンド B（3）・水抜き穴塞ぎ（1）・接着剤（1）・φ 4 × 12 トラスタッピン 3 種（4） φ 4 × 19 セルフドリリングビス（3）・雨樋ジャバラ（1）・ジャバラパイプカバー（1）] 施工説明書 [ME-1751]（1）	
		アップ 40° ダウン 40°	桁端部ブラケット（左右各 2）・φ 4 × 14 トラスタッピン 3 種（12） 桁連結スリーブ（2）・桁連結スリーブ（上または下勾配）（4）・φ 4 × 19 細目セルフドリリングビス（48） 傾斜用連結部品（4）・雨樋連結裏板（2）・φ 4 × 14 トラスタッピン 3 種（12）・止水パッキン（桁連結部）（6） 桁連結部カバー（コーナー用）（2）・桁連結部カバー（傾斜用）（4）・連結補強プレート（4） φ 4 × 19 細目セルフドリリングビス（16）・φ 5 × 20 トラスタッピン 3 種（8） 中骨取付金具（12 ※）・φ 4 × 10 トラスタッピン 3 種（12 ※）・止水パッキン（傾斜用）（2） 雨樋部品セット（両支持 2・片支持 1）[落し口パッキン (2)・落し口（1）・エルボ 88°（2） 固定バンド A（3）・固定バンド B（3）・水抜き穴塞ぎ（1）・接着剤（1）・φ 4 × 12 トラスタッピン 3 種（4） φ 4 × 19 セルフドリリングビス（3）・ドレンエルボ（1）] 傾斜用雨樋部品セット（2）[落し口パッキン (2)・落し口（1）・エルボ 88°（2） 固定バンド A（3）・固定バンド B（3）・水抜き穴塞ぎ（1）・接着剤（1）・φ 4 × 12 トラスタッピン 3 種（4） φ 4 × 19 セルフドリリングビス（3）・雨樋ジャバラ（1）・ジャバラパイプカバー（1）] 施工説明書 [ME-1751]（1）	
	傾斜ジョイント	アップ 20° ダウン 20°	桁連結スリーブ（2）・桁連結スリーブ（上または下勾配）（2）・φ 4 × 19 細目セルフドリリングビス（32） 傾斜用連結部品（2）・雨樋連結裏板（2）・φ 4 × 14 トラスタッピン 3 種（8）・止水パッキン（桁連結部）（4） 桁連結部カバー（コーナー用）（2）・桁連結部カバー（傾斜用）（2）・連結補強プレート（2） φ 4 × 19 細目セルフドリリングビス（8） φ 5 × 20 トラスタッピン 3 種（8）・側枠開き止め金具（4）・φ 4 × 13 セルフドリリングビス（4） 中骨取付金具（6 ※）・φ 4 × 10 トラスタッピン 3 種（6 ※）・施工説明書 [ME-1751]（1）	
		アップ 40° ダウン 40°	桁連結スリーブ（2）・桁連結スリーブ（上または下勾配）（2）・φ 4 × 19 細目セルフドリリングビス（48） 傾斜用連結部品（4）・雨樋連結裏板（2）・φ 4 × 14 トラスタッピン 3 種（12）・止水パッキン（桁連結部）（6） 桁連結部カバー（コーナー用）（2）・桁連結部カバー（傾斜用）（4）・連結補強プレート（4） φ 4 × 19 細目セルフドリリングビス（16） φ 5 × 20 トラスタッピン 3 種（8）・側枠開き止め金具（4）・φ 4 × 13 セルフドリリングビス（4） 中骨取付金具（12 ※）・φ 4 × 10 トラスタッピン 3 種（12 ※）・施工説明書 [ME-1751]（1）	
屋根材	アップ 20° ・ダウン 20°		屋根材（2）	
	アップ 40° ・ダウン 40°		屋根材（3）	

各部の名称

●組立施工および調整の説明項目を示しています。組立前に確認してください。
●本図は両支持・エンド庇納まり・アップ 40°の場合を示しています。
※（　）内は説明ページを示しています。

★印の項目については、スカイパス本体の施工説明書 [ME-1750] または [ME-1777] を合わせて参照してください。

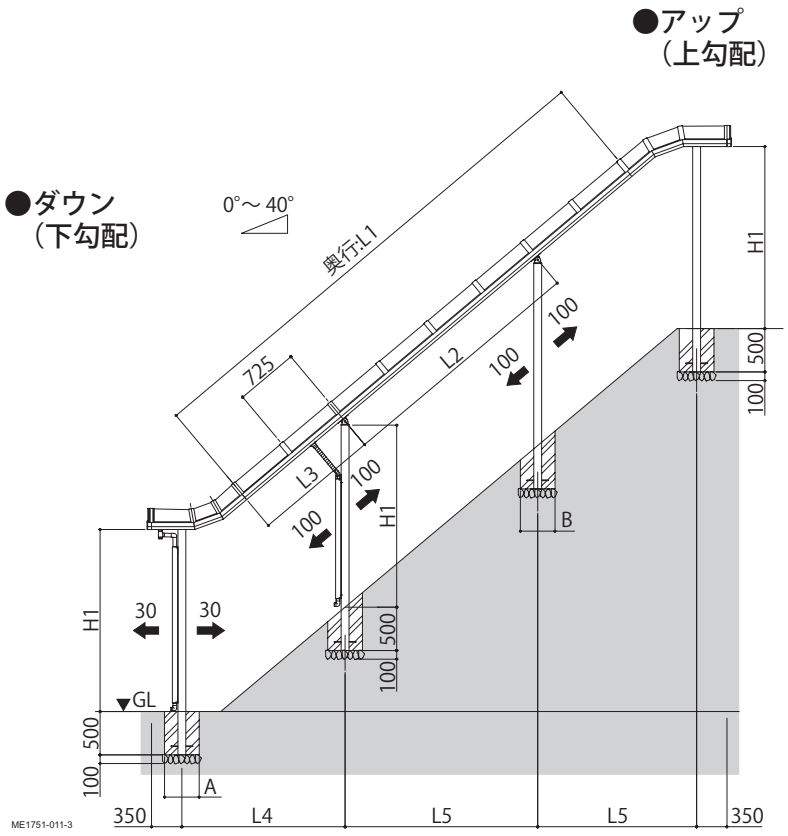


納まり図

●施工前に必ず確認してください。

エンド庇納まり

※本図は、両支持・奥行：58・間口：30・傾斜角度 40° の場合を示しています。
※ ⟵ 印は柱移動範囲を示しています。



●施工の順序

★1 基礎の施工 （9 ページ）
↓
★2 柱部品の取付け （9 ページ）
↓
3 桁の取付け （9 ページ）
↓
4 桁の連結 （10 ページ）
↓
★5 垂木の取付け （13 ページ）
↓
★6 側枠の取付け （13 ページ）
↓
★7 桁の本締めと
コンクリートの打ち込み （13 ページ）
↓
8 中骨の取付け （14 ページ）
↓
9 屋根材の取付け （17 ページ）
↓
10 雨樋の取付け （19 ページ）
↓
★11 縦樋カバーの取付け （20 ページ）

★印の項目については、スカイパス本体の施工説明書 [ME-1750] または [ME-1777] を合わせて参照してください。

●基本寸法表

（mm）

奥行	L1	L2	L3
36	3625	2175	725
58	5800	2900	1450

（mm）

柱の種類	H1
標準柱	2100
長柱	2500

（mm）

間口	間口寸法
12	1180
17	1680
20	1980
23	2280
30 ※	2980

※片支持タイプの場合は、間口：30 はありません。

●基礎寸法表

（mm）

地耐力	A		B		
	両支持（平地）	片支持（平地）	両支持（傾斜）	片支持（傾斜）	片支持（平地傾斜）・センター柱
30 kN/ ㎡	550	1100	1200	1100	750
50 kN/ ㎡	400	1000	1100	1000	650

●傾斜角度別寸法表

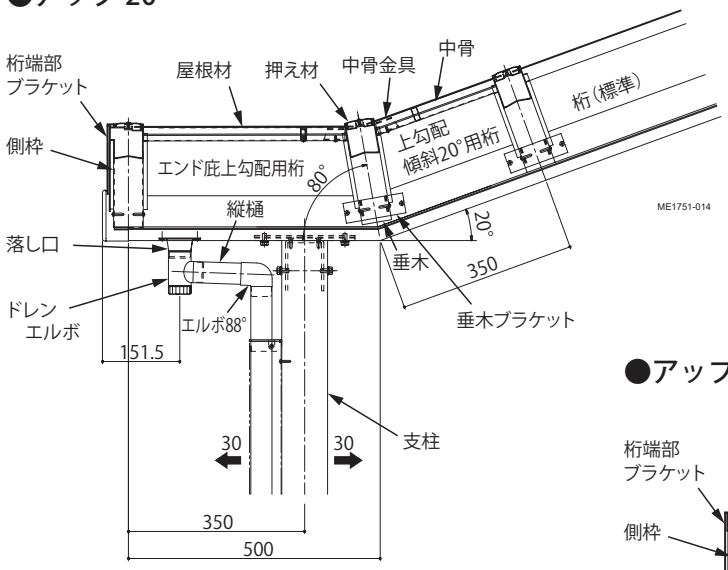
（mm）

奥行	傾斜角度	L4	L5
36	5°	1224	2167
	10°	1215	2142
	15°	1198	2101
	20°	1173	2044
	25°	1482	1971
	30°	1438	1884
	35°	1386	1782
	40°	1327	1666
58	5°	1947	2889
	10°	1929	2856
	15°	1899	2801
	20°	1855	2725
	25°	2139	2628
	30°	2066	2511
	35°	1980	2376
	40°	1883	2222

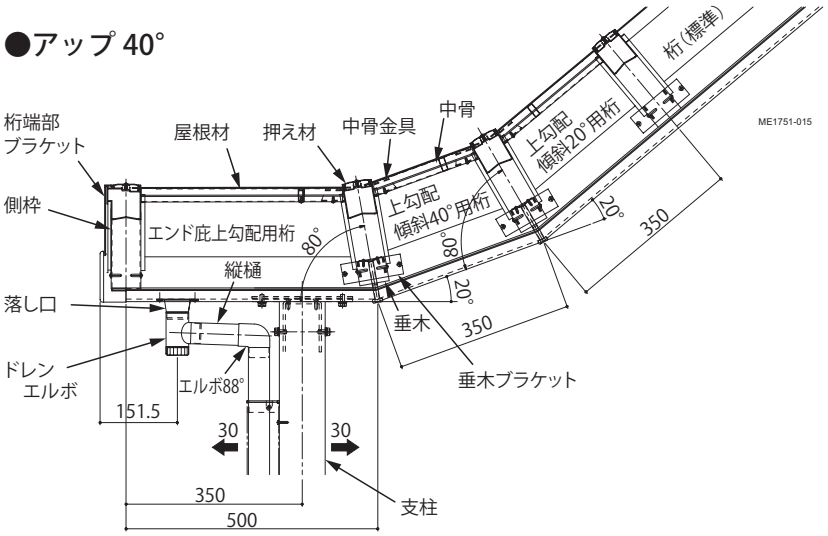
エンド庇詳細図（両支持）

※ ⬅ 印は柱移動範囲を示しています。

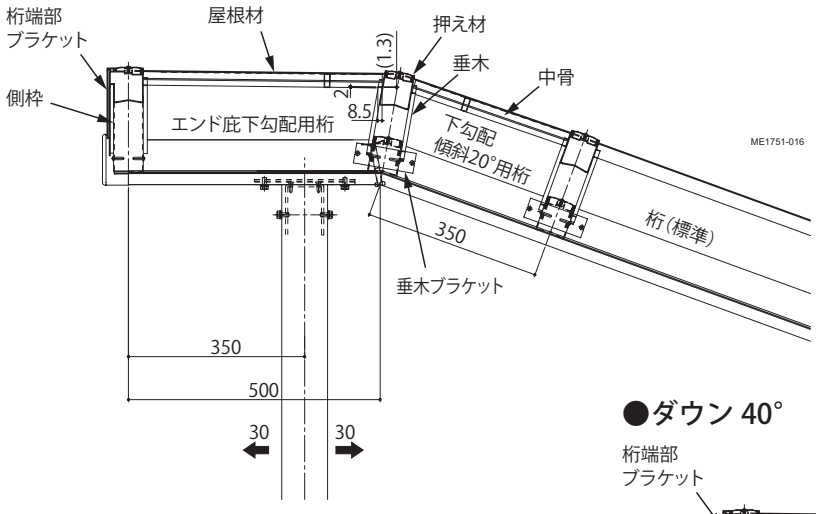
●アップ 20°



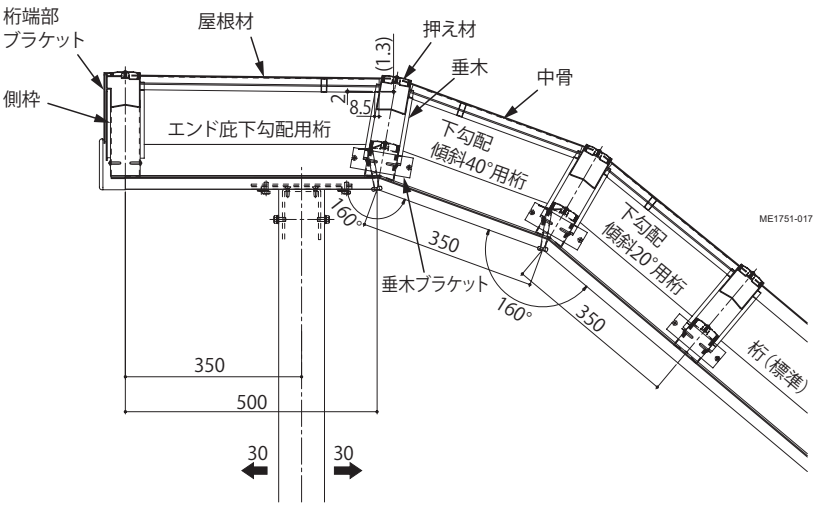
●アップ 40°



●ダウン 20°



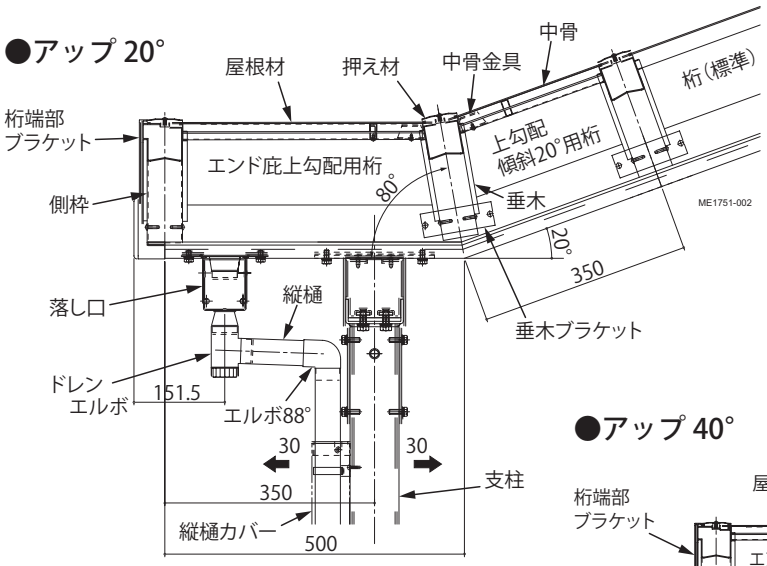
●ダウン 40°



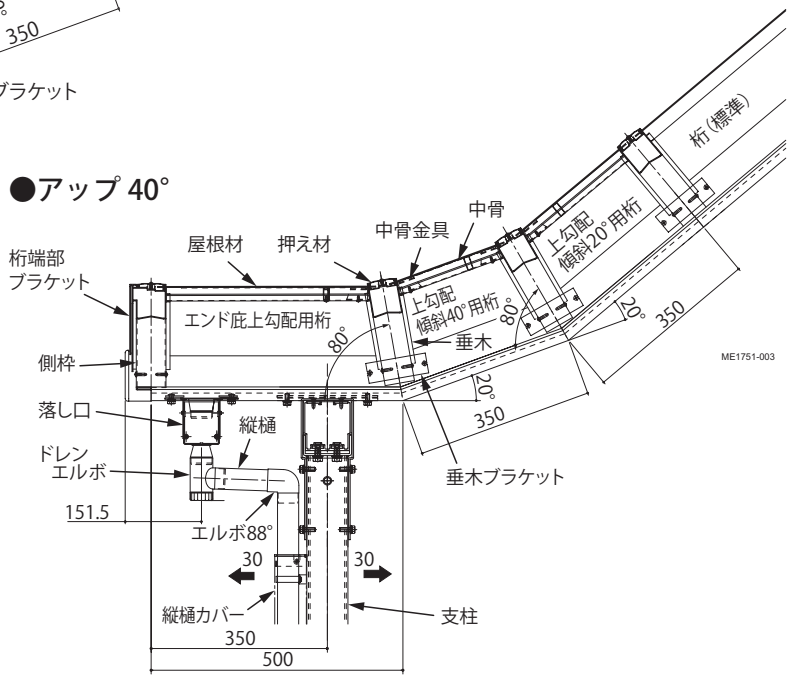
エンド庇詳細図（片支持）

※ ⬅ 印は柱移動範囲を示しています。

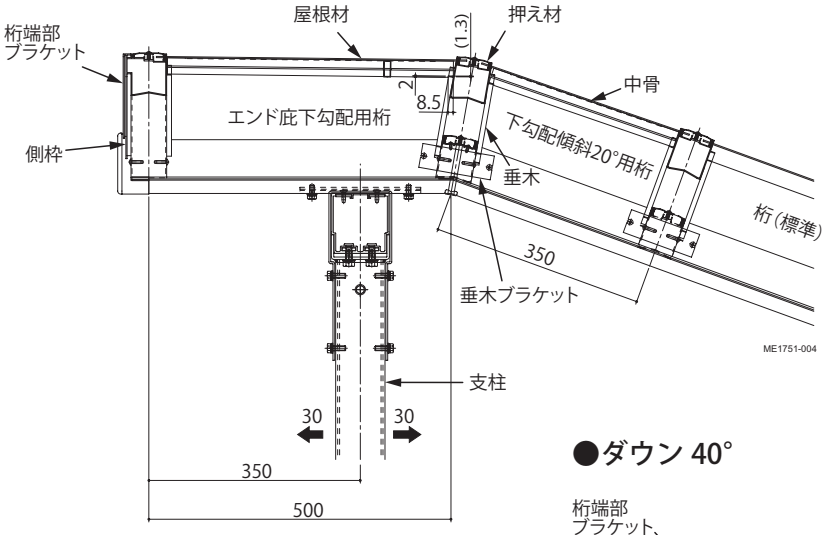
●アップ 20°



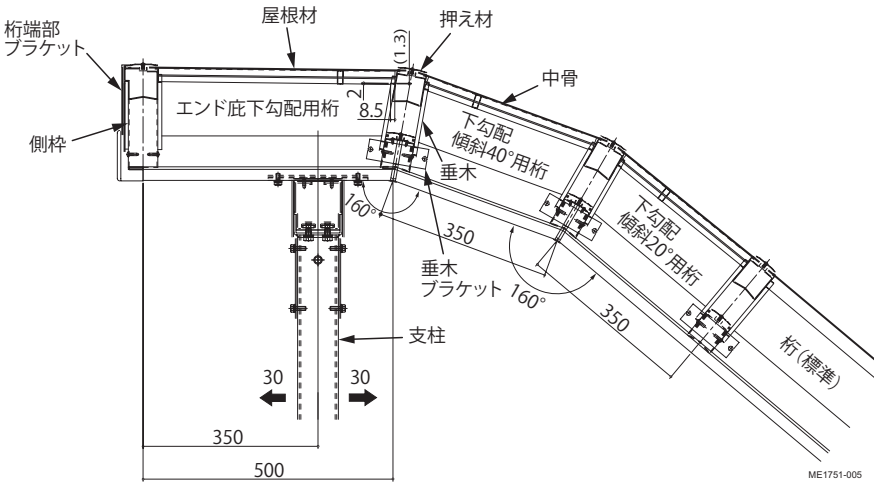
●アップ 40°



●ダウン 20°



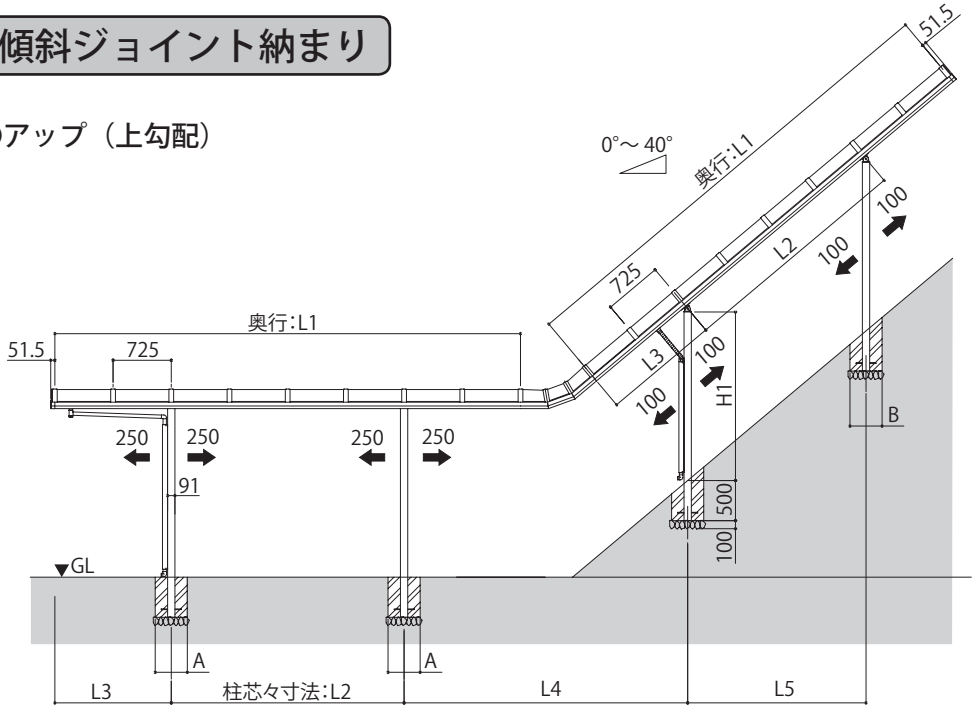
●ダウン 40°



傾斜ジョイント納まり

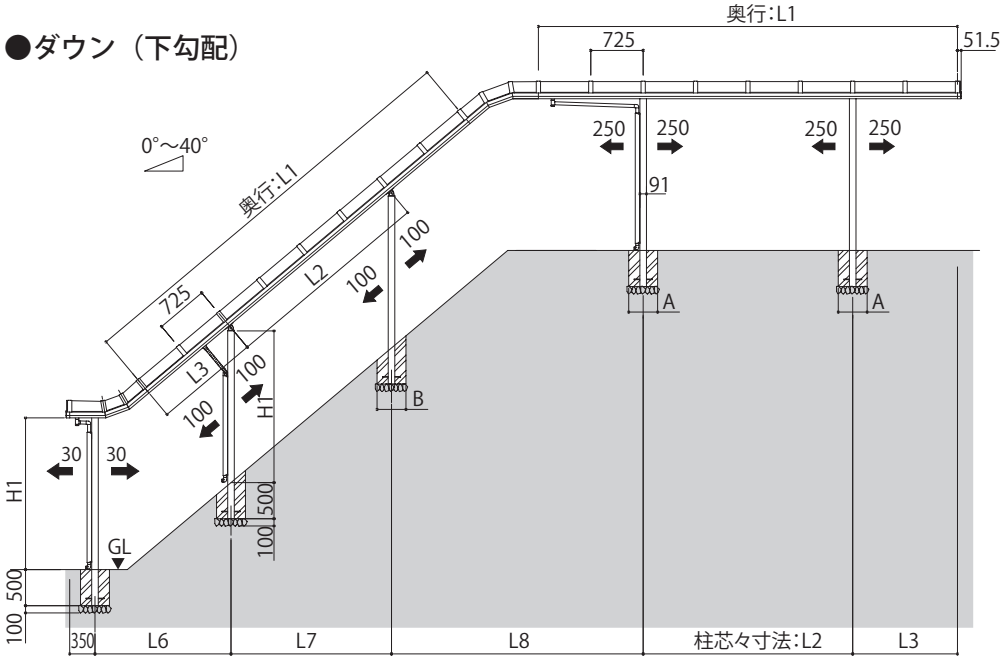
※本図は、傾斜角度 40°、奥行：58 の場合を示しています。
※ ⬅ 印は柱移動範囲を示しています。

●アップ（上勾配）



ME1751-012-3

●ダウン（下勾配）



ME1751-013-3

●施工の順序

- 4 桁の連結 （10 ページ）
- ↓
- 5 垂木の取付け （13 ページ）
- ↓
- 8 中骨の取付け （14 ページ）
- ↓
- 9 屋根材の取付け（17 ページ）

●基本寸法表

（mm）

奥行	L1	L2	L3
36	3625	2175	725
58	5800	2900	1450

（mm）

柱の種類	H1
標準柱	2100
長柱	2500

（mm）

間口	間口寸法
12	1180
17	1680
20	1980
23	2280
30 ※	2980

※片支持タイプの場合は、間口：30 はありません。

●基礎寸法表

（mm）

地耐力	A		B		
	両支持（平地）	片支持（平地）	両支持（傾斜）	片支持（傾斜）	片支持（平地傾斜）・センター柱
30 kN/ ㎡	550	1100	1200	1100	750
50 kN/ ㎡	400	1000	1100	1000	650

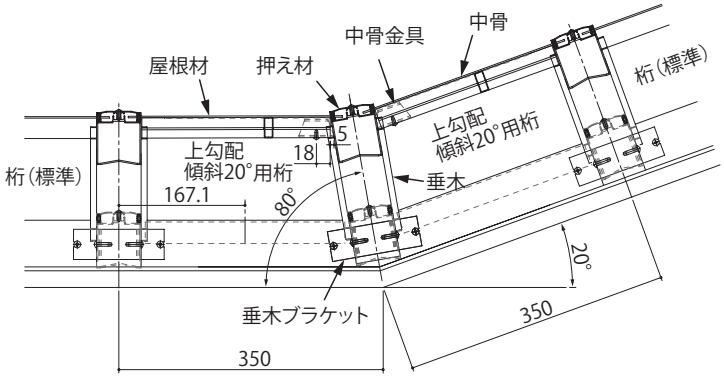
●傾斜角度別寸法表

（mm）

奥行	傾斜角度	L4	L5	L6	L7	L8
36	5°	2149	2167	1224	2167	2143
	10°	2140	2142	1215	2142	2127
	15°	2123	2101	1198	2101	2103
	20°	2098	2044	1173	2044	2072
	25°	2407	1971	1482	1971	2375
	30°	2364	1884	1438	1884	2325
	35°	2311	1782	1386	1782	2267
	40°	2252	1666	1327	1666	2203
58	5°	3597	2889	1947	2889	3590
	10°	3579	2856	1929	2856	3566
	15°	3549	2801	1899	2801	3529
	20°	3505	2725	1855	2725	3478
	25°	3789	2628	2139	2628	3757
	30°	3716	2511	2066	2511	3678
	35°	3630	2376	1980	2376	3586
	40°	3533	2222	1883	2222	3483

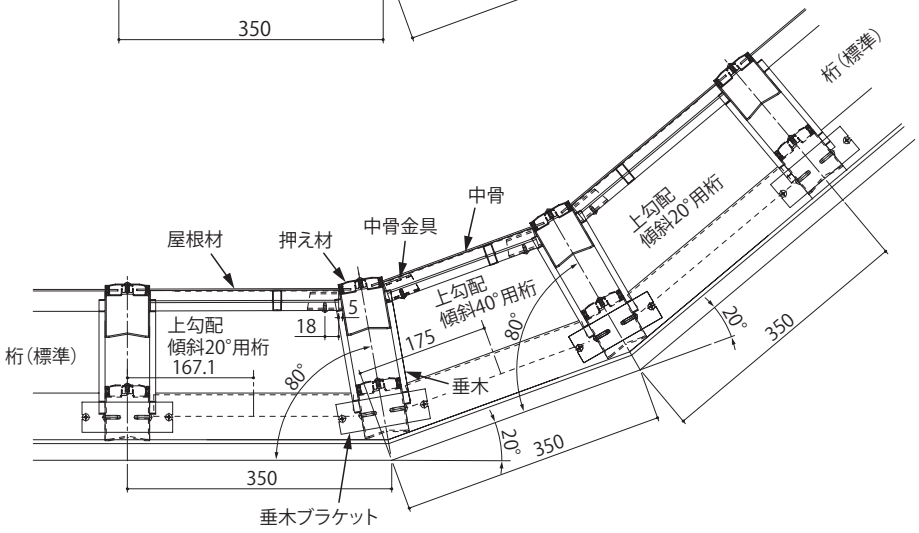
傾斜ジョイント詳細図

●アップ 20°



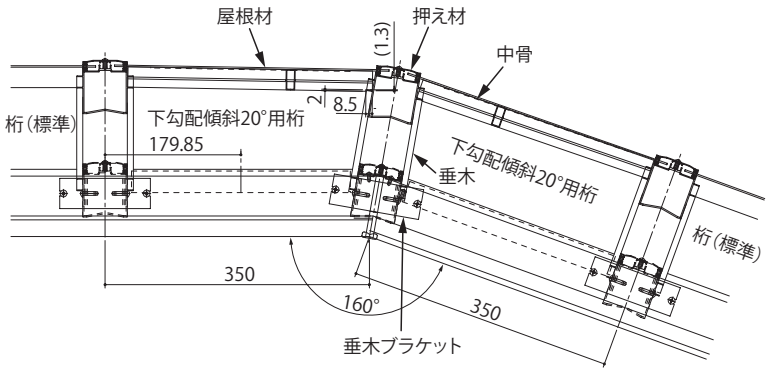
ME1751-006

●アップ 40°



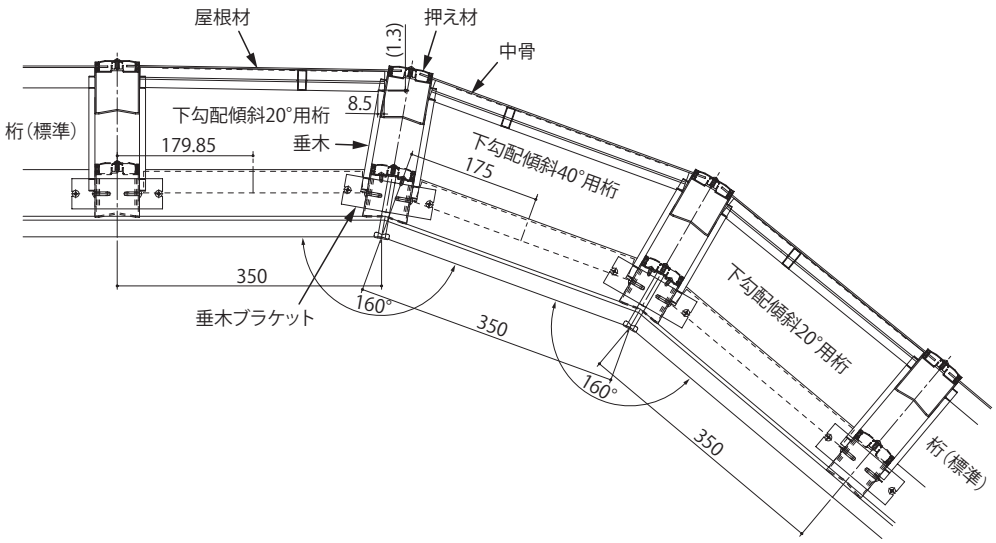
ME1751-007

●ダウン 20°



ME1751-008

●ダウン 40°



ME1751-009

1 基礎の施工
（※エンド庇納まりの場合）

●エンド庇納まりの場合に作業を行ってください。
※傾斜ジョイント納まりの場合は不要です。
●「納まり図」を参照して、柱の位置・基礎寸法を確認してください。

①スカイパス本体の施工説明書 [ME-1750] または [ME-1777] を参照して、柱基礎を施工してください。

参照ページ
・両支持 ⇒ ME-1750　10 ページ「1. 基礎の施工」
・片支持 ⇒ ME-1777　9 ページ「1. 基礎の施工」

2 柱部品の取付け
（※エンド庇納まりの場合）

●エンド庇納まりの場合に作業を行ってください。
※傾斜ジョイント納まりの場合は不要です。

①スカイパス本体の施工説明書 [ME-1750] または [ME-1777] を参照して、柱部品を取付けてください。

●エンド庇部は平地納まりとなります。
●参照ページ
・両支持 ⇒ ME-1750　10 ページ「2. 柱部品の取付け」
・片支持 ⇒ ME-1777　10 ページ「2. 柱部品の取付け」

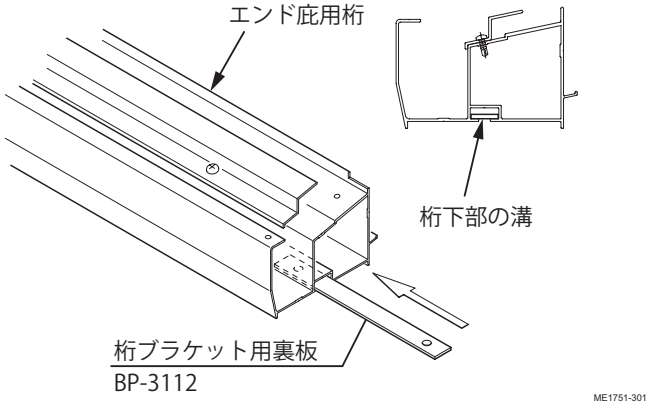
3 桁の取付け
（※エンド庇納まりの場合）

●エンド庇用桁に支柱を取付けてください。

①「納まり図」を参照して、支柱の取付位置を確認してください。
②エンド庇用桁下部の溝に、桁ブラケット用裏板を挿入してください。

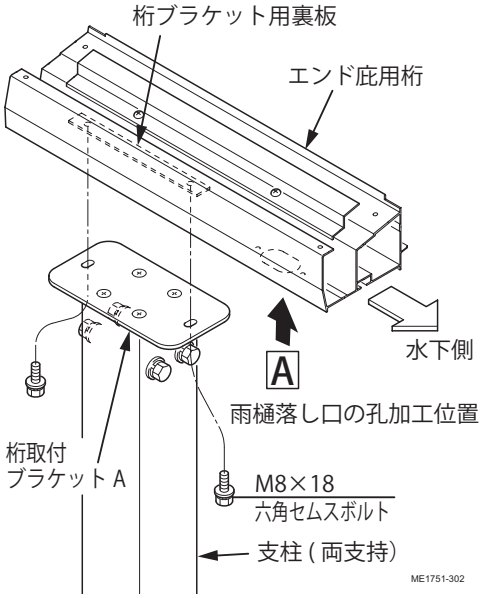
●桁には、雨樋落し口の孔加工位置により左右があります。
●雨樋落し口の孔加工位置を水下側に配置してください。

桁 1 本につき裏板を 1 枚挿入してください。

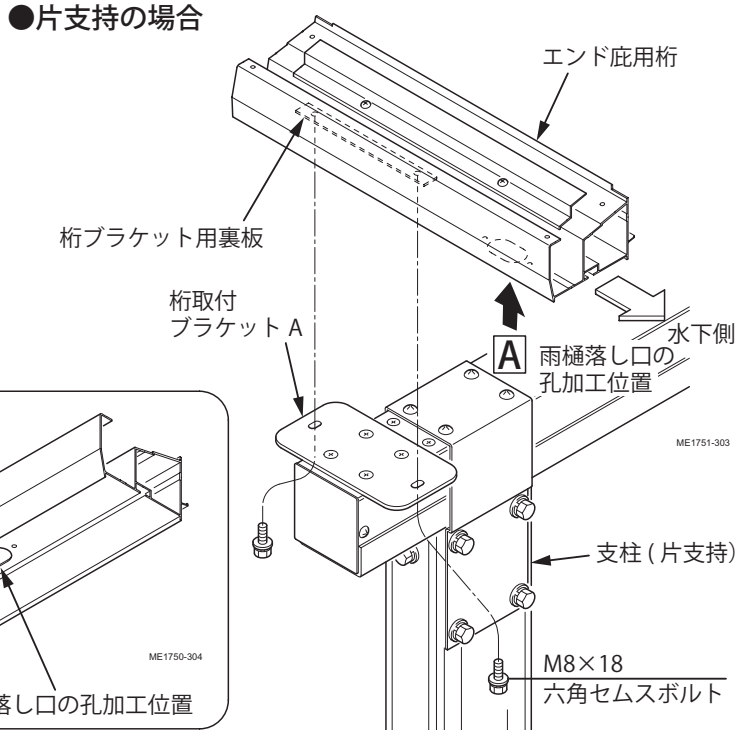


③エンド庇用ブラケットを桁取付ブラケット A に仮止めしてください。

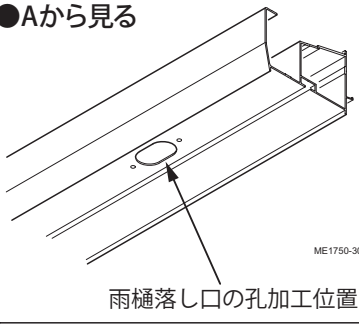
●両支持の場合



●片支持の場合



●Aから見る



4 桁の連結

●直線部の連結については、スカイパス本体の施工説明書
[ME-1750] または [ME-1777] を参照してください。

●桁には、納まり・上下勾配・傾斜角度に応じて形状の区別があります。
●桁の連結には、納まり・傾斜角度に応じて 8 通りのパターンがあります。
●桁の形状と配置を確認の上、取付作業を行ってください。

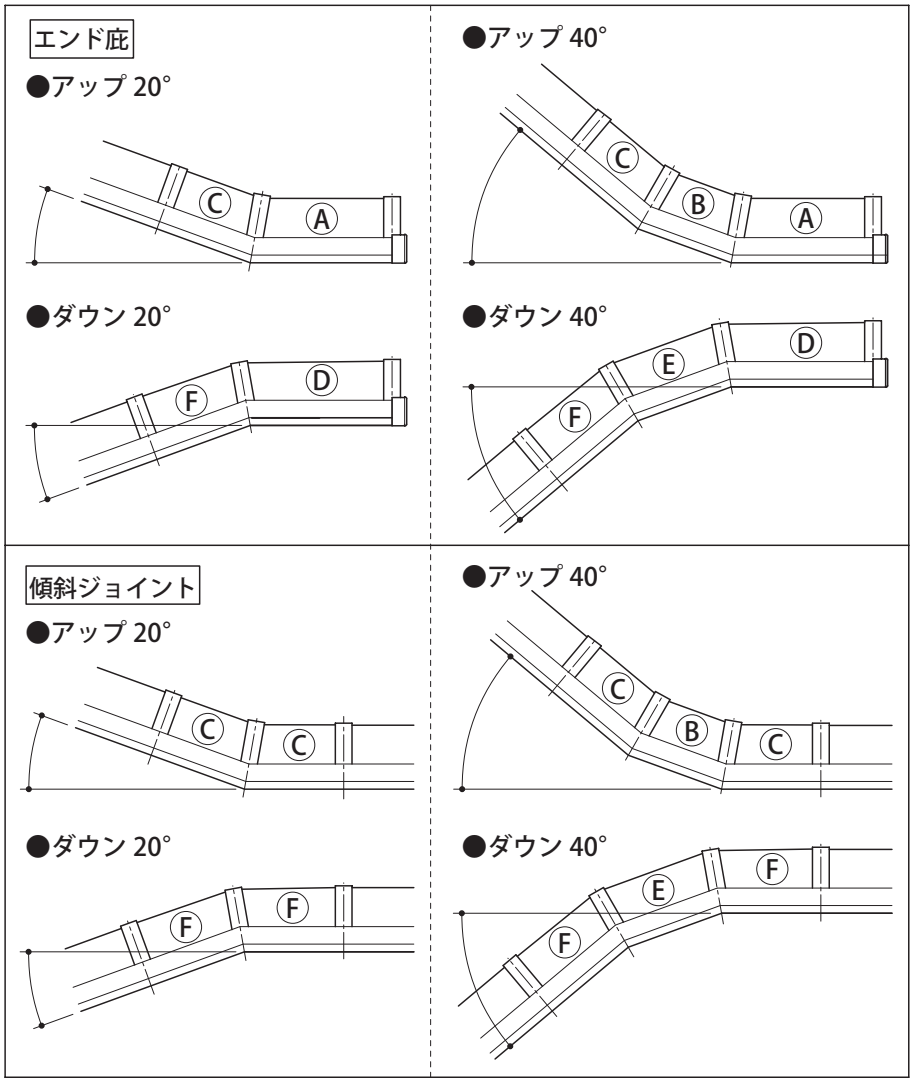
4－1 施工前の確認

①納まり・上下勾配・傾斜角度に応じて、
桁の配置と種類を確認してください。

●桁の種類

記号	名称
A	エンド庇上勾配用桁
B	上勾配傾斜 40° 用桁
C	上勾配傾斜 20° 用桁
D	エンド庇下勾配用桁
E	下勾配傾斜 40° 用桁
F	下勾配傾斜 20° 用桁

●桁の配置



ME1751-401

4－2 桁の連結

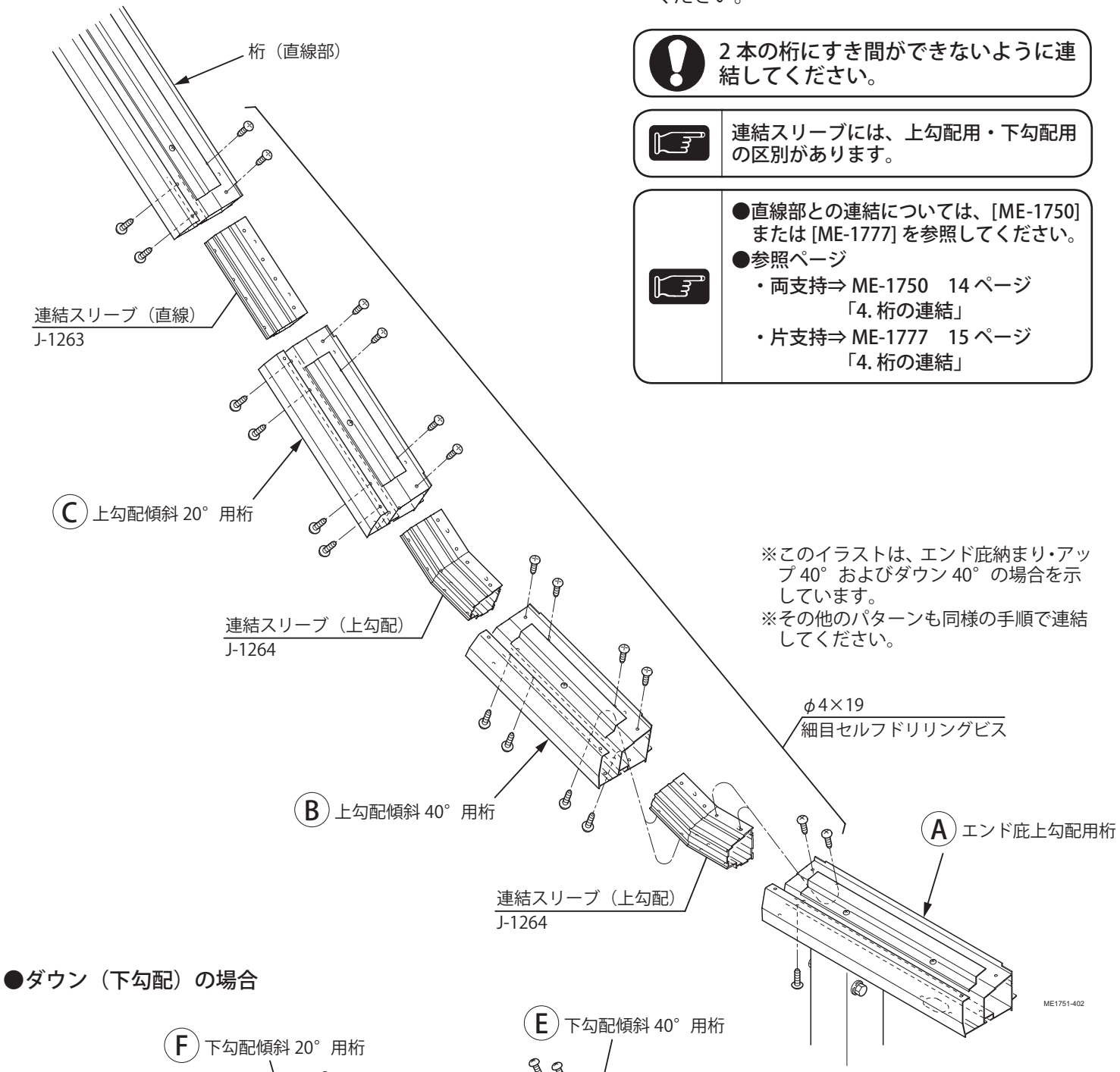
●アップ（上勾配）の場合

①連結スリーブを使用して、2 本の桁を連結してください。

2 本の桁にすき間ができないように連結してください。

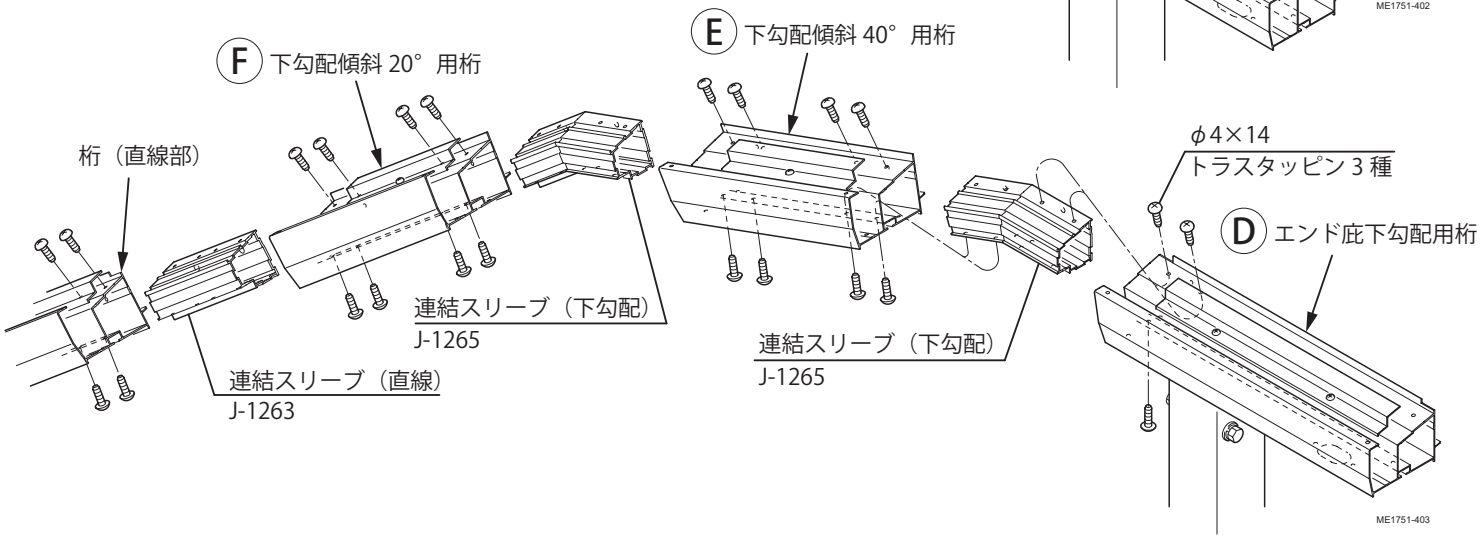
連結スリーブには、上勾配用・下勾配用の区別があります。

●直線部との連結については、[ME-1750] または [ME-1777] を参照してください。
●参照ページ
・両支持⇒ ME-1750　14 ページ「4. 桁の連結」
・片支持⇒ ME-1777　15 ページ「4. 桁の連結」



※このイラストは、エンド庇納まり・アップ 40° およびダウン 40° の場合を示しています。
※その他のパターンも同様の手順で連結してください。

●ダウン（下勾配）の場合

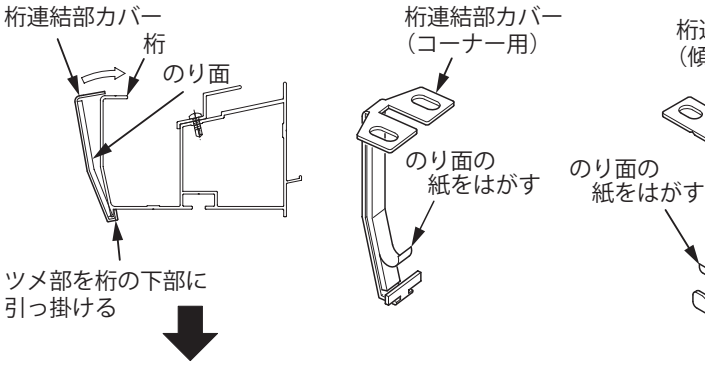


②桁連結部カバーの「のり面」の紙をはがし、桁の連結雨樋部に貼付けてください。

傾斜部と直線部では部品が異なります。図を参照して間違えないようにしてください。

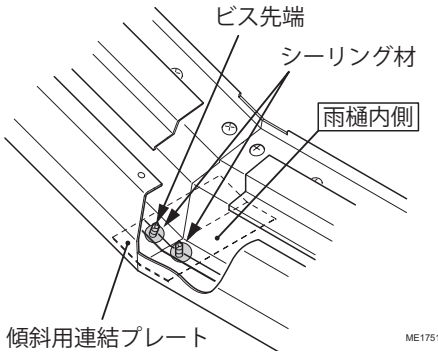
③雨樋連結裏板と桁連結カバーを共締めしてください。

●桁連結部カバーの取付方法



④傾斜用連結補強プレートを、桁の連結部下部に取付けてください。

⑤傾斜用連結補強プレートを取付けたビスの先端（雨樋内側）にシーリング材で防水処理を行ってください。



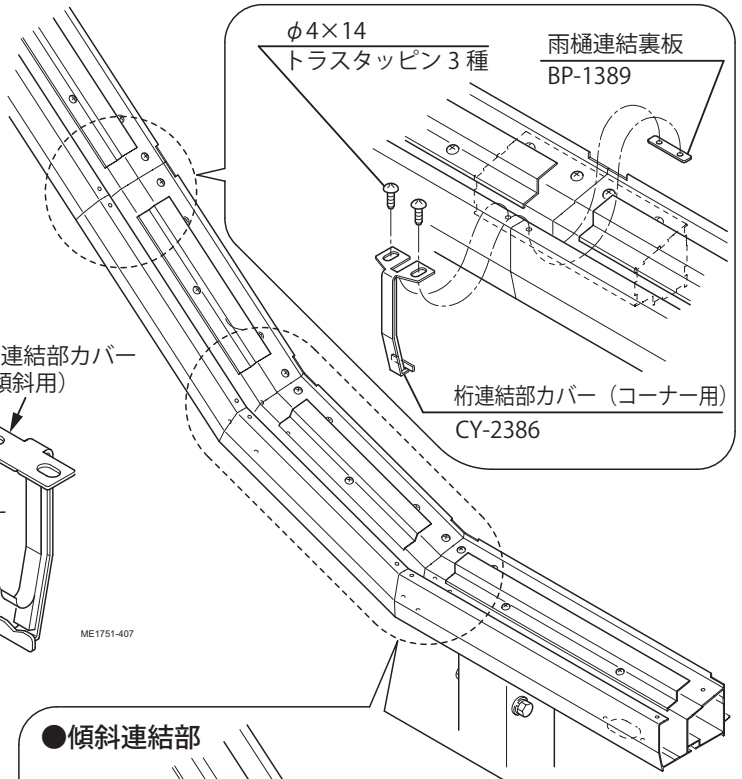
⑥止水パッキンの「のり面」の紙をはがし、桁の連結部上面に貼付けてください。

桁の形状に合わせて貼付けてください。

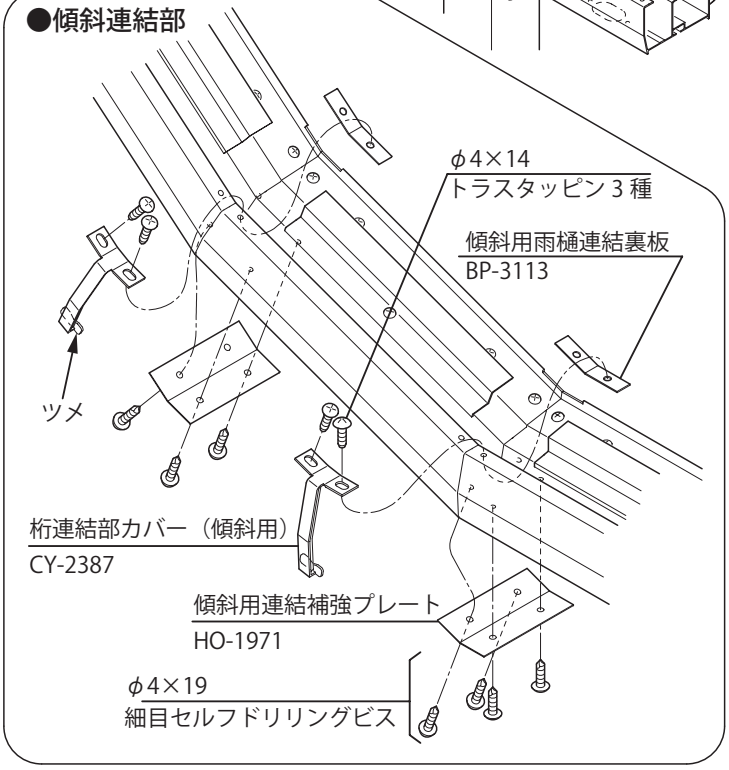
⑦柱・桁の固定後、止水パッキンの周りにシーリング材で防水処理を行ってください。

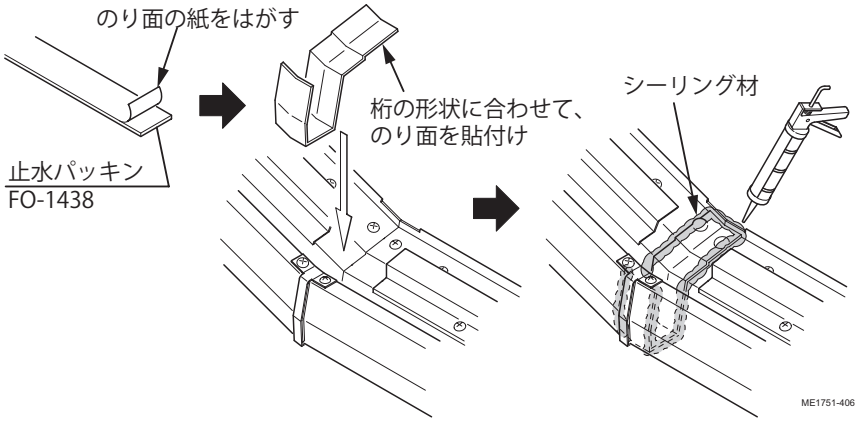
防水処理を確実に行ってください。
※防水が不完全だと、雨漏りなどの原因になります。

●直線連結部



●傾斜連結部





5 垂木の取付け

6 側枠の取付け
（※エンド庇納まりの場合）

7 桁の本締めとコンクリートの打ち込み
（※エンド庇納まりの場合）

①スカイパス本体の施工説明書 [ME-1750] または [ME-1777] を参照して、垂木と側枠を桁に取付け、シーリング材で防水処理を行い、支柱を固定してください。

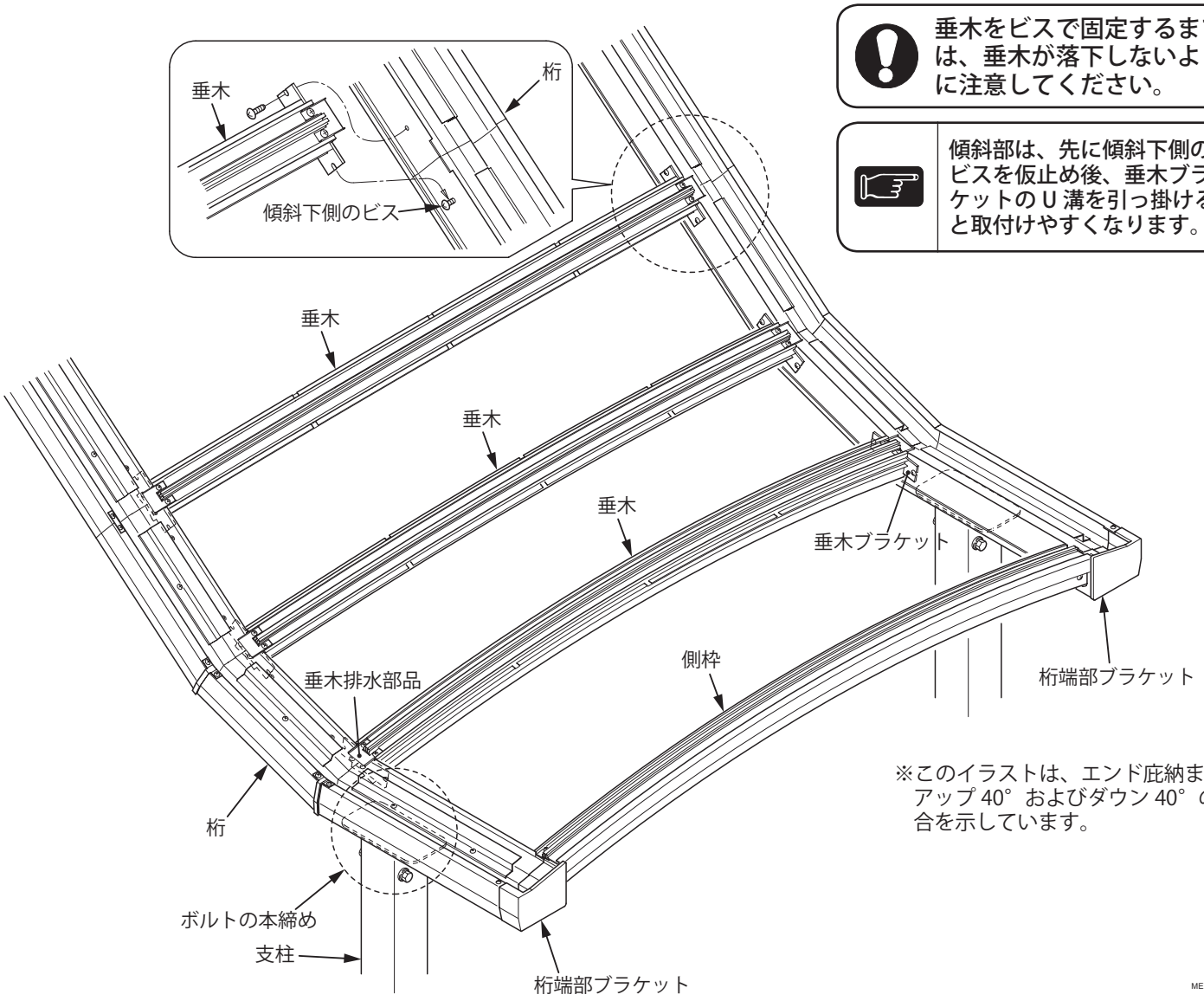
防水処理を確実に行ってください。
※防水が不完全だと、雨漏りなどの原因になります。

●参照ページ
・両支持⇒ ME-1750　15 ページ「5. 垂木の取付け」
・両支持⇒ ME-1750　17 ページ「6. 側枠の取付け」
・ 両支持⇒ ME-1750　19 ページ「7. 桁の本締めとコンクリートの打ち込み」
・片支持⇒ ME-1777　16 ページ「5. 垂木の取付け」
・片支持⇒ ME-1777　18 ページ「6. 側枠の取付け」
・ 片支持⇒ ME-1777　20 ページ「7. 桁の本締めとコンクリートの打ち込み」

●取付イメージ図

垂木をビスで固定するまでは、垂木が落下しないように注意してください。

傾斜部は、先に傾斜下側のビスを仮止め後、垂木ブラケットの U 溝を引っ掛けると取付けやすくなります。



※このイラストは、エンド庇納まり・アップ 40°およびダウン 40°の場合を示しています。

ME1751-501

8 中骨の取付け

●中骨には、１種類ごとに長・短の区別があります。
●中骨には、納まり・上下勾配・傾斜角度に応じて形状の区別があります。
●中骨の形状と組合せを確認の上、取付作業を行ってください。

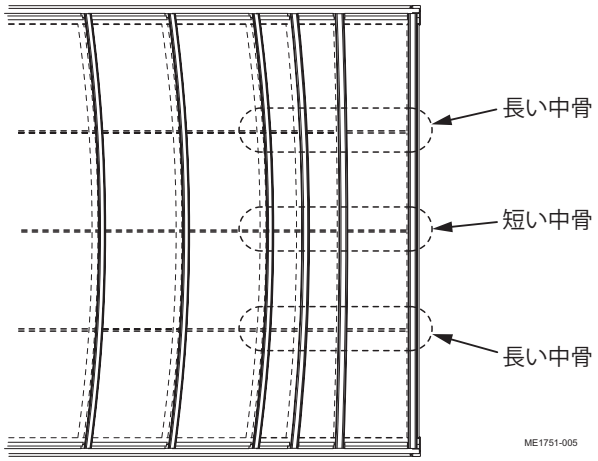
8－1 施工前の確認

①納まり・上下勾配・傾斜角度に応じて、
中骨の組合せと種類を確認してください。

アップ（上勾配）の場合

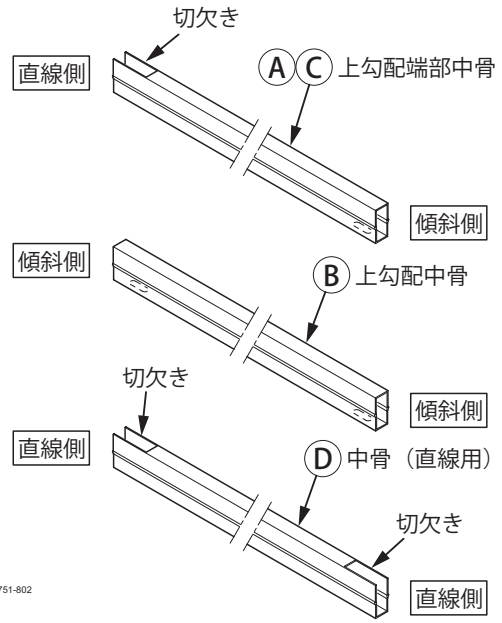
●長・短の配置

※両端には長い中骨、中央には短い中骨の
配置となります。



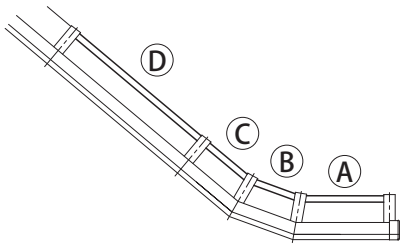
●中骨の種類

※直線部に連結する側には切欠きがあります。
※傾斜部に連結する側には切欠きがありません。
（中骨金具をはめ込みます）

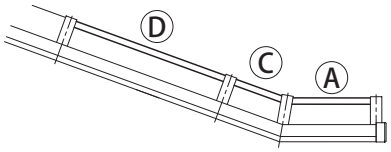


●中骨の組合せ

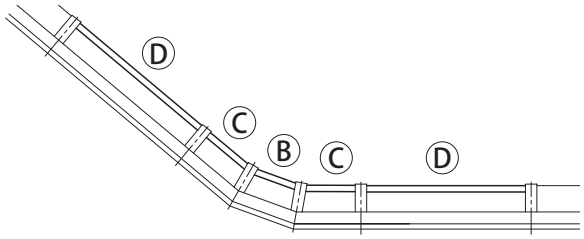
エンド庇・アップ 40°



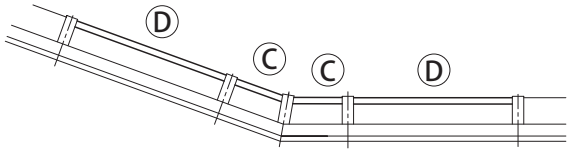
エンド庇・アップ 20°



傾斜ジョイント・アップ 40°



傾斜ジョイント・アップ 20°



●中骨寸法表

(mm)

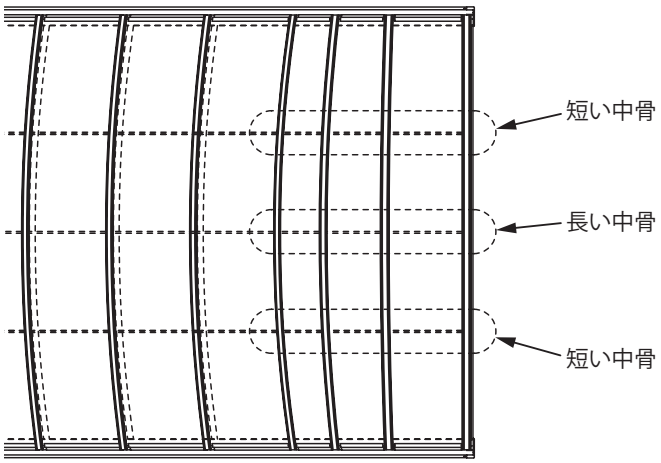
		間口：12	間口：17	間口：20	間口：23	間口：30 ※
A	長	417	413.5	411	409.5	404
	短	414	410.5	407	405	398
B	長	243	236.5	232	228.5	217.5
	短	239	230.5	224	220	206
C	長	267	263.5	261.5	259.5	254
	短	264	260.5	257	255	248
D	－	665				

※片支持の場合は、間口：30 はありません。

ダウン（下勾配）の場合

●長・短の配置

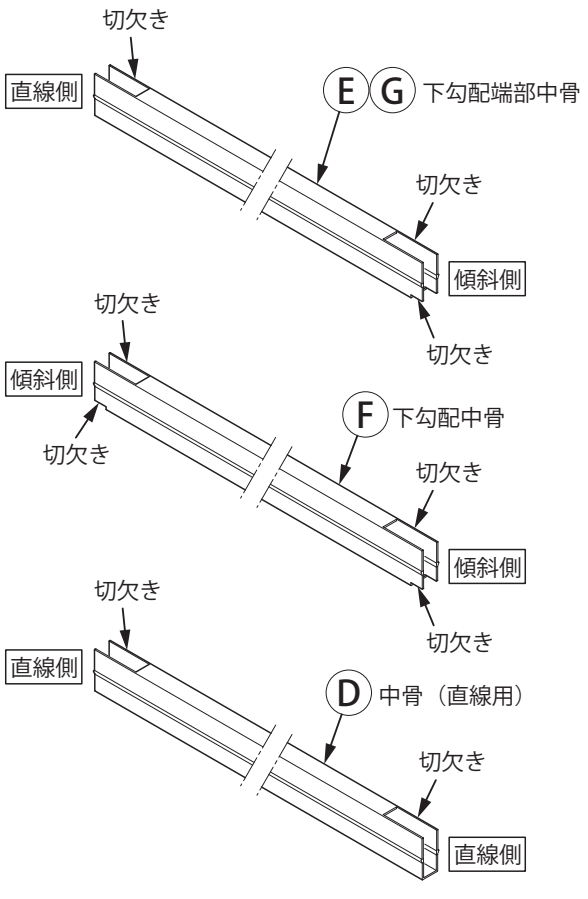
※両端には短い中骨、中央には長い中骨の
　配置となります。



ME1751-805

●中骨の種類

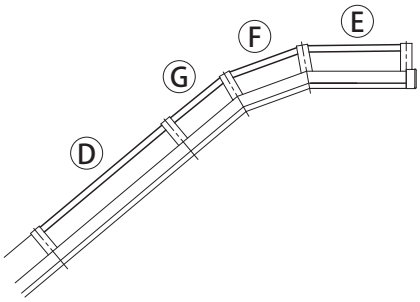
※直線部に連結する側には上部のみ切欠きがあります。
※傾斜部に連結する側には上下部に切欠きがあります。



ME1751-803

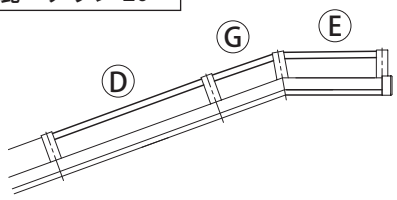
●中骨の組合せ

エンド庇・ダウン 40°



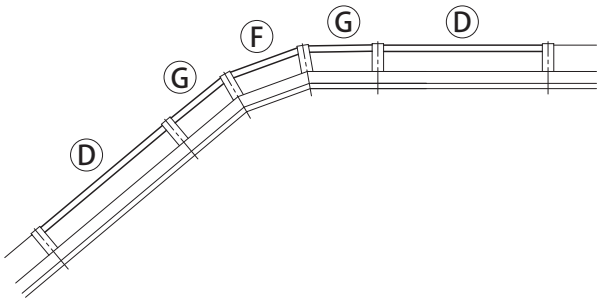
ME1751-812

エンド庇・ダウン 20°



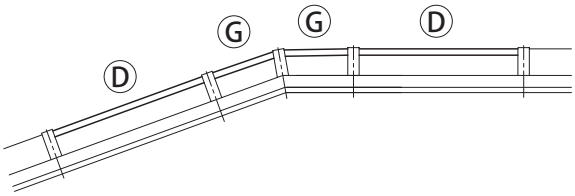
ME1751-811

傾斜ジョイント・ダウン 40°



ME1751-816

傾斜ジョイント・ダウン 20°



ME1751-815

●中骨寸法表

(mm)

		間口：12	間口：17	間口：20	間口：23	間口：30 ※
E	長	456.5	460	462.5	464	470
	短	458.5	463	466.5	468.5	475.5
F	長	327	336	343	347	361
	短	323	330	335	338.5	349.5
G	長	308.5	313	317	319	326
	短	306.5	310	313	314	320
D	―	665				

※片支持の場合は、間口：30 はありません。

8－2 中骨の取付け

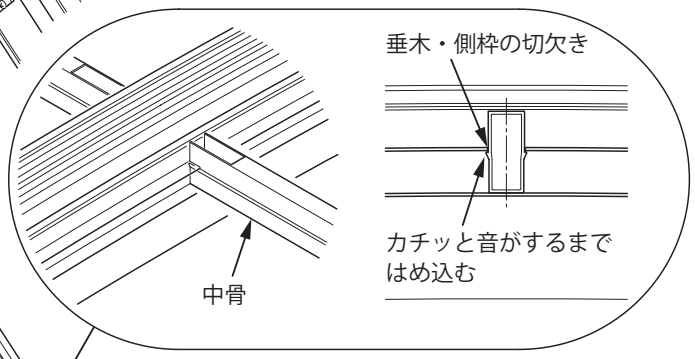
①中骨を側枠・垂木の切欠きにカチッと音がするまではめ込んでください。

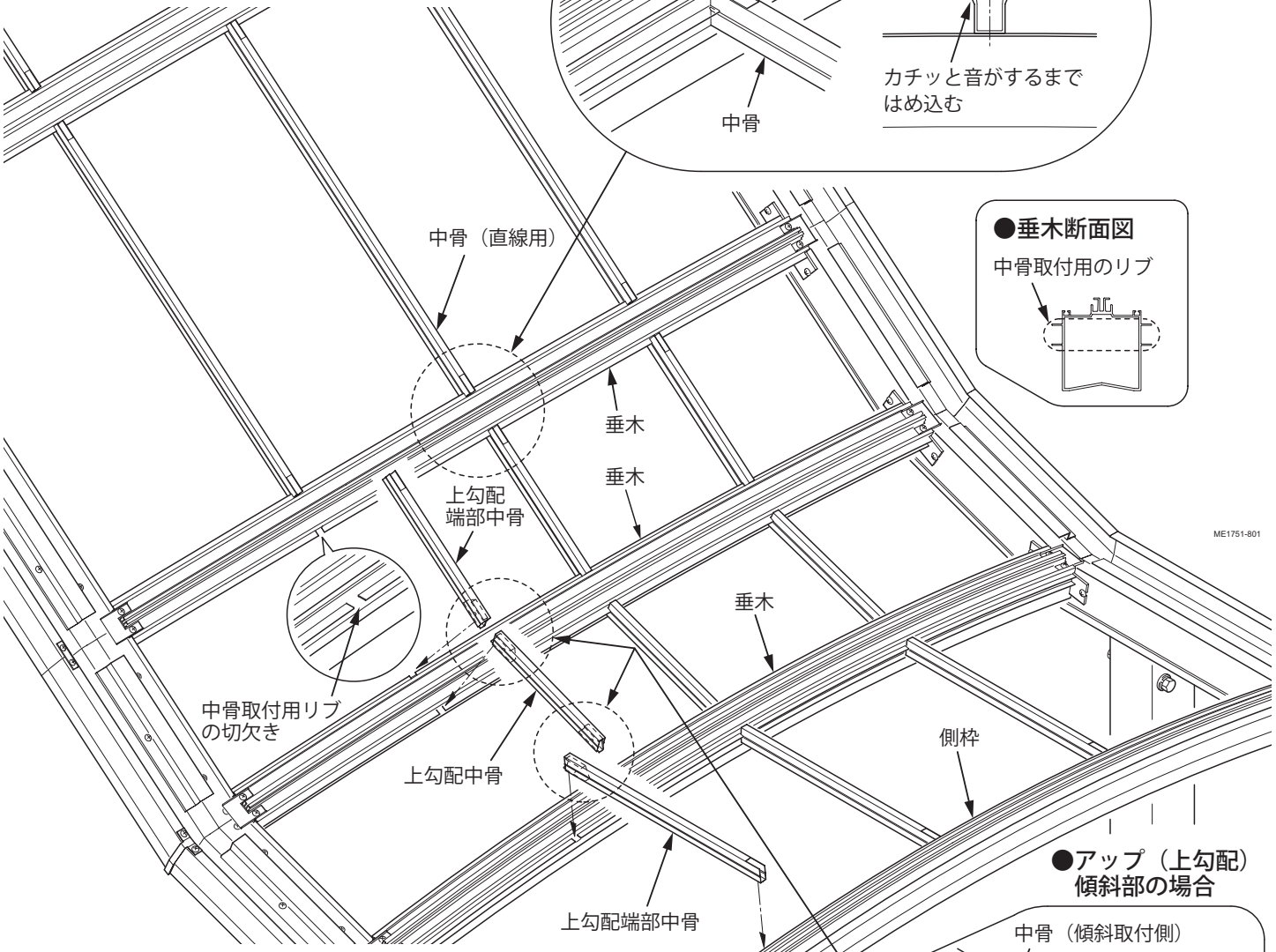
※このイラストは、エンド庇納まり・アップ 40°およびダウン 40°の場合を示しています。
※その他のパターンも同様の手順で取付けてください。

中骨の上下を間違えないようにしてください。

中骨を確実にはめ込んでください。
※はめ込みが不完全だと、屋根材が浮き上がり、雨漏りなどの原因になります。

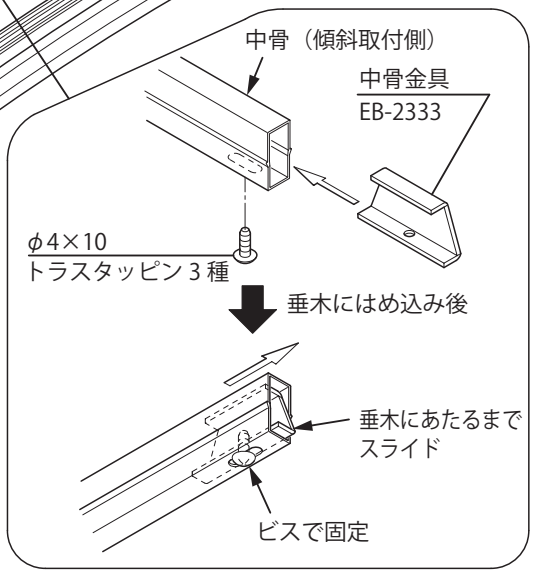
●直線部の場合





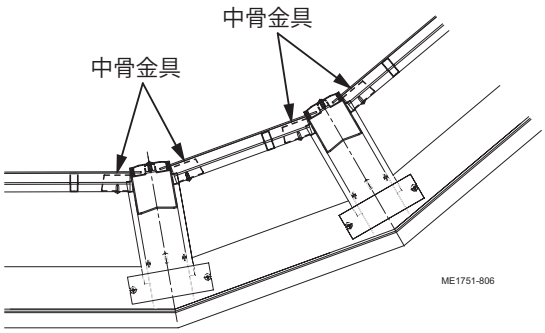
●垂木断面図

●アップ（上勾配）傾斜部の場合



アップ（上勾配）の場合は、傾斜部に中骨金具を取付けてください。

※中骨の傾斜側に中骨金具を取付け



9 屋根材の取付け

●屋根材には、納まり・上下勾配・傾斜角度に応じて形状の区別があります。
●ポリカーボネートの場合は、表・裏の区別があります。
●屋根材の形状と組合せを確認の上、取付作業を行ってください。

9－1 施工前の確認

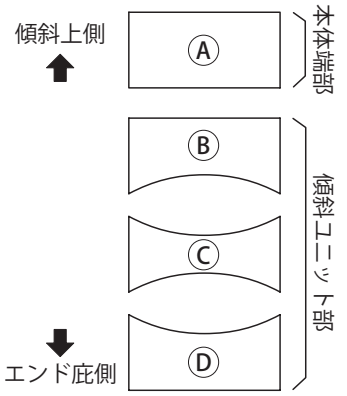
①納まり・上下勾配・傾斜角度に応じて、屋根材の組合せと種類を確認してください。

●屋根材の種類

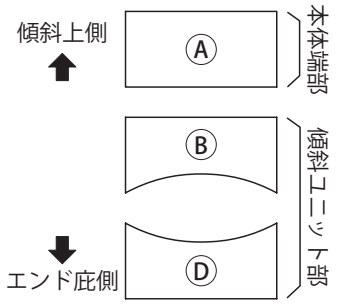
記号	名称	部品記号（アルミ）	部品記号（ポリカーボネート）
A	面材	AM-1090	EM-1286（表・裏あり）
B	面材（傾斜ジョイント上勾配）	AM-1096	EM-1292（表・裏あり）
C	面材（傾斜ジョイント上勾配中間）	AM-1094	EM-1290（表・裏あり）
D	面材（傾斜 上勾配エンド部）	AM-1095	EM-1291（表・裏あり）
E	面材（傾斜ジョイント下勾配）	AM-1093	EM-1289（表・裏あり）
F	面材（傾斜ジョイント下勾配中間）	AM-1091	EM-1287（表・裏あり）
G	面材（傾斜 下勾配エンド部）	AM-1092	EM-1288（表・裏あり）

●屋根材の配置

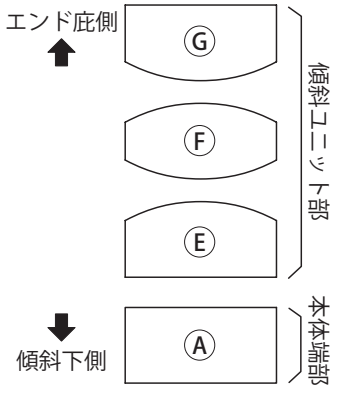
●エンド庇・アップ 40°



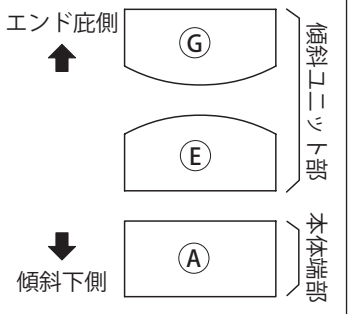
●エンド庇・アップ 20°



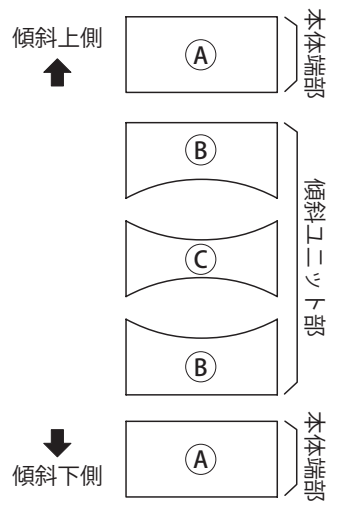
●エンド庇・ダウン 40°



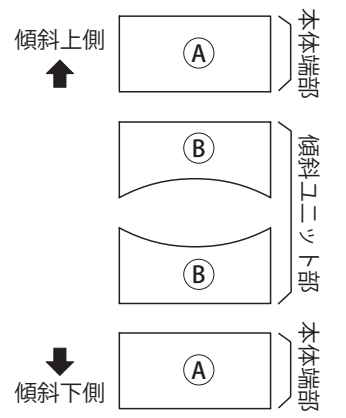
●エンド庇・ダウン 20°



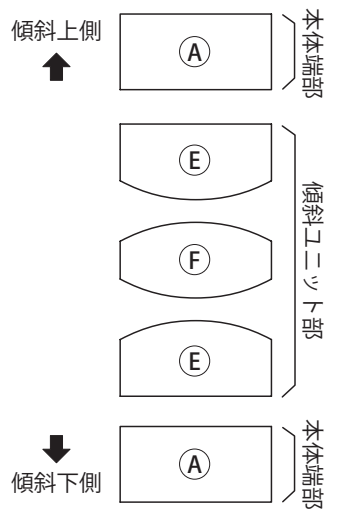
●傾斜ジョイント・アップ 40°



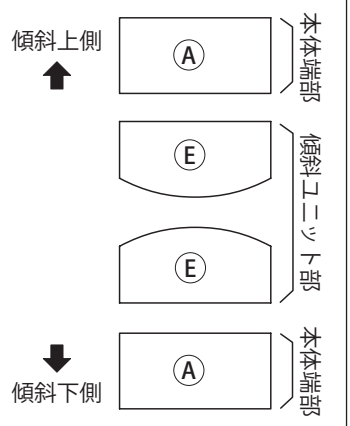
●傾斜ジョイント・アップ 20°



●傾斜ジョイント・ダウン 40°



●傾斜ジョイント・ダウン 20°



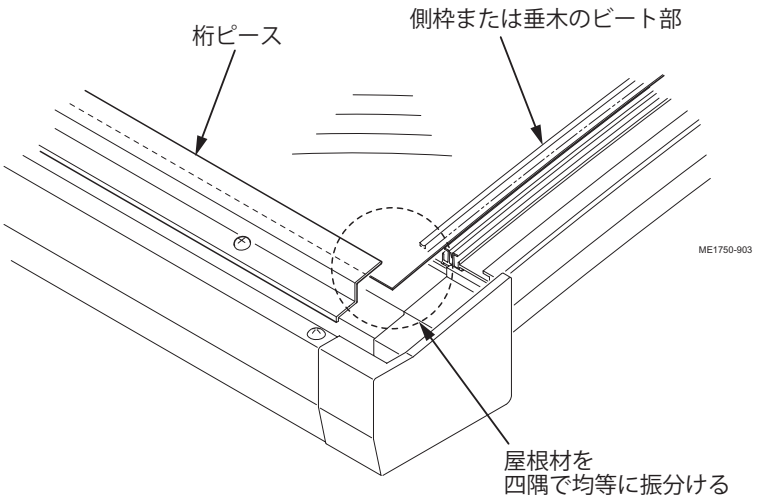
9－2 屋根材の取付け

①屋根材のマスキングシートをはがしてください。

●材質がポリカーボネートの場合は、表・裏があります。
●マスキングシートに天面表示があります。はがす前に確認してください。

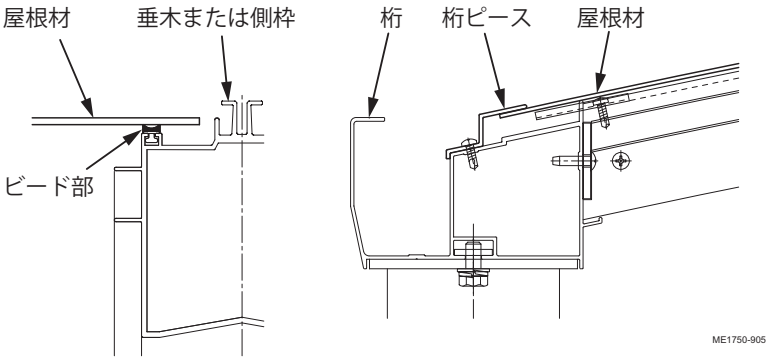
②屋根材を桁ピースに差し込み、側枠または垂木のビード部に均等に載せてください。

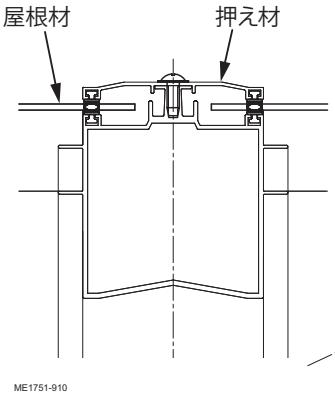
屋根材を四隅で均等に振り分けてください。

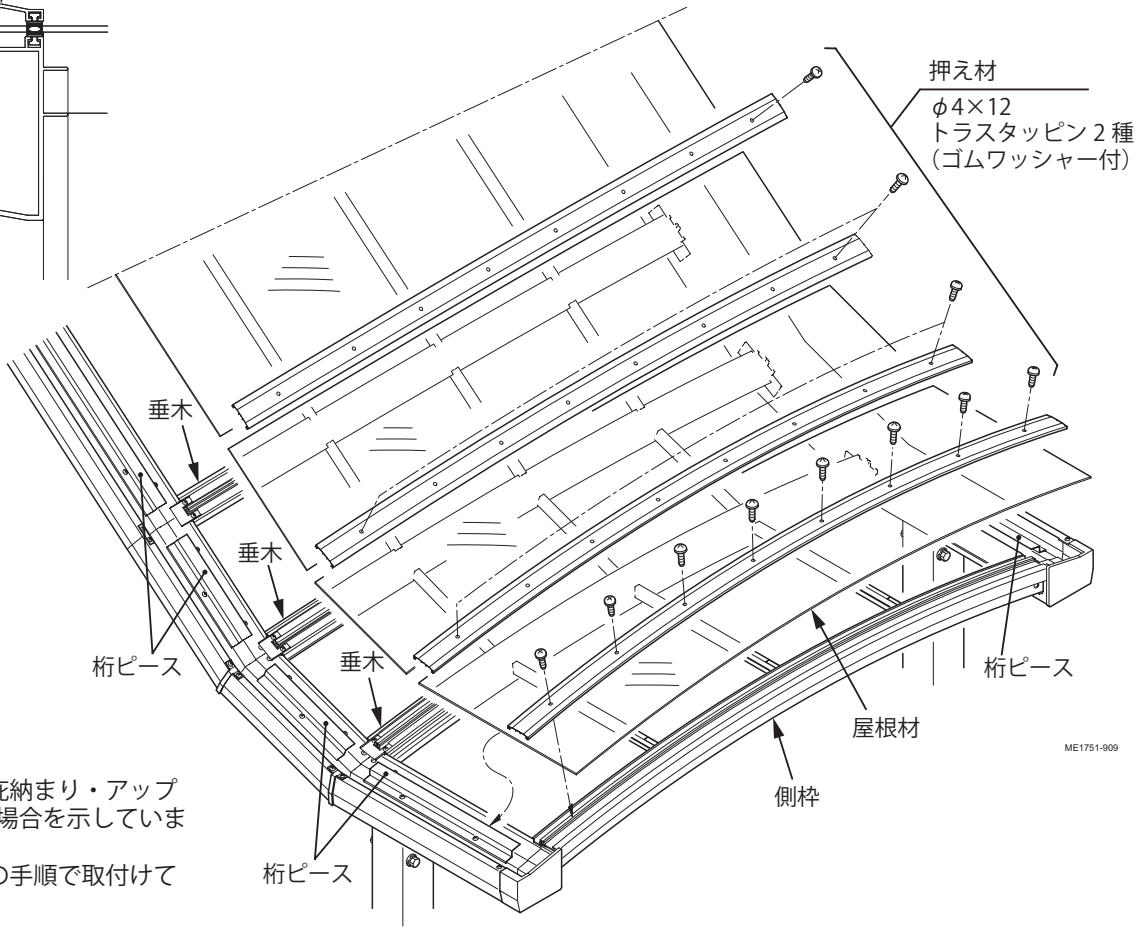


③押え材を垂木および側枠の溝に、ビスで固定してください。

●押え材をビス止めするとき、インパクトドライバーを使用しないでください。
●ビスが空回りする場合は、ペンチなどで垂木または側枠の溝を狭めてから再度ビス止めしてください。





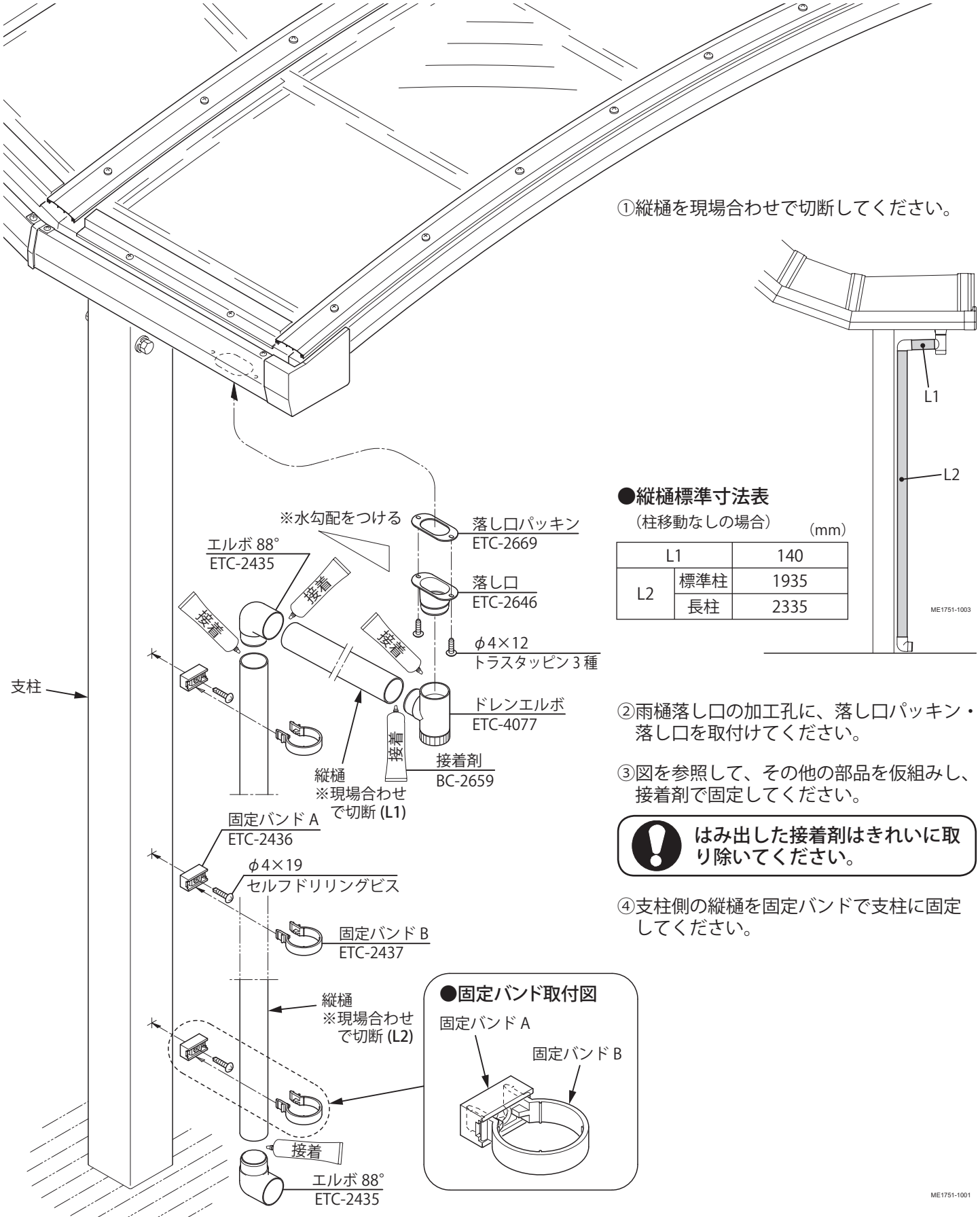


※このイラストは、エンド庇納まり・アップ 40°およびダウン 40°の場合を示しています。
※その他のパターンも同様の手順で取付けてください。

10 雨樋の取付け
（※エンド庇納まりの場合）

●エンド庇納まりの場合に作業を行ってください。
※傾斜ジョイント納まりの場合は不要です。

10 － 1 両支持の場合



①縦樋を現場合わせで切断してください。

●縦樋標準寸法表

（柱移動なしの場合）　（mm）

L1		140
L2	標準柱	1935
	長柱	2335

②雨樋落し口の加工孔に、落し口パッキン・落し口を取付けてください。

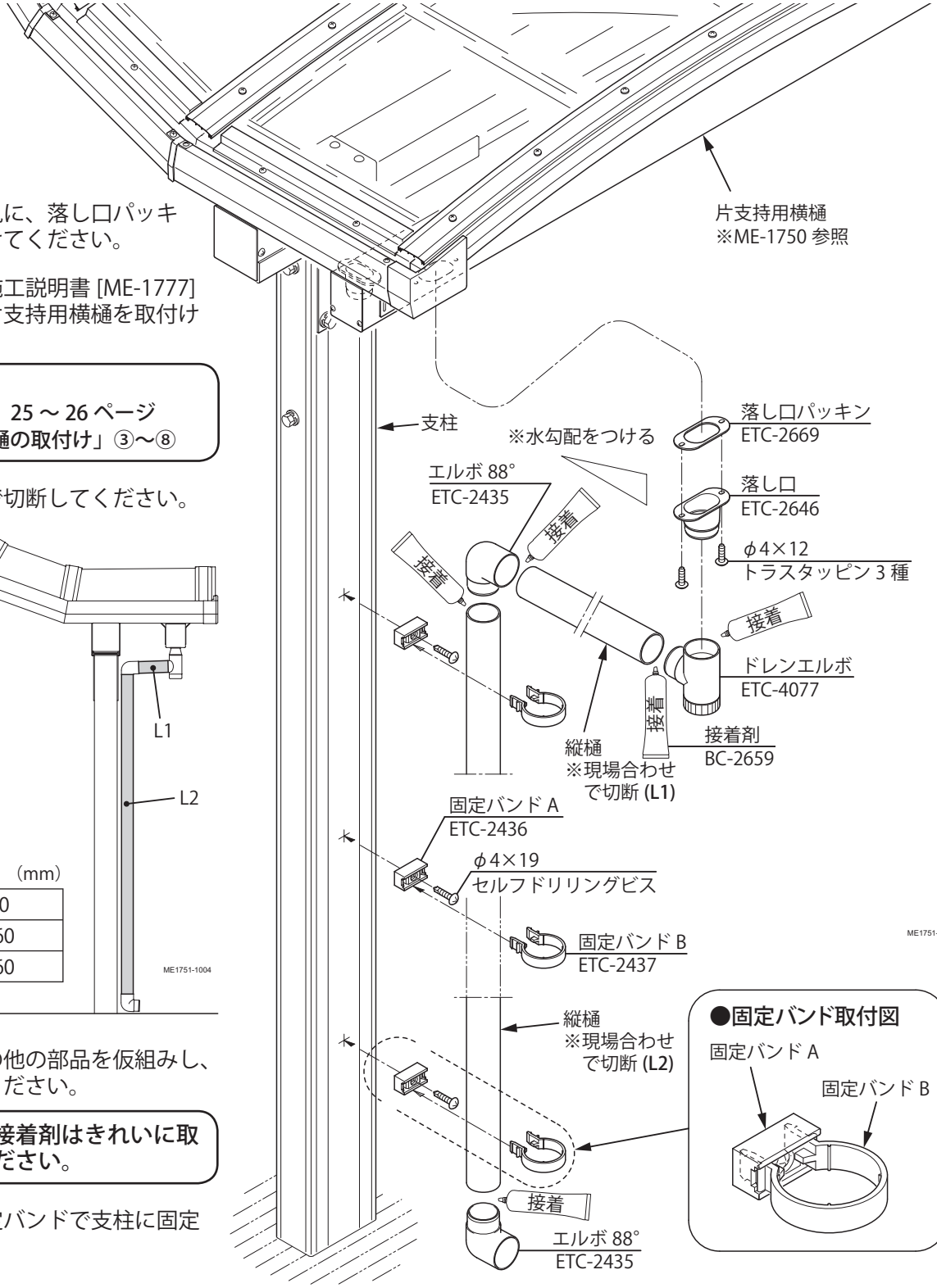
③図を参照して、その他の部品を仮組みし、接着剤で固定してください。

はみ出した接着剤はきれいに取り除いてください。

④支柱側の縦樋を固定バンドで支柱に固定してください。

ME1751-1001

10 － 2 片支持の場合

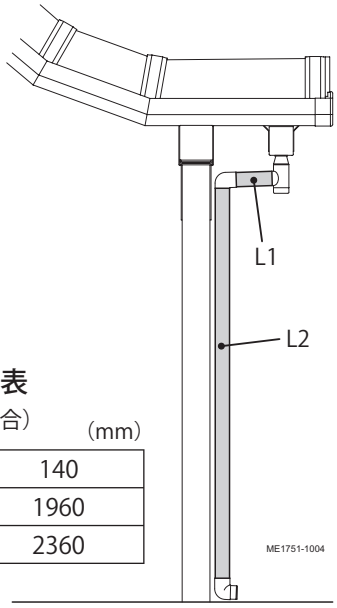


①雨樋落し口の加工孔に、落し口パッキン・落し口を取付けてください。

②スカイパス本体の施工説明書 [ME-1777] と同様の手順で、片支持用横樋を取付けてください。

参照ページ
・ME-1777　25 ～ 26 ページ
「10B. 雨樋の取付け」③～⑧

③縦樋を現場合わせで切断してください。



●縦樋標準寸法表

（柱移動なしの場合）　（mm）

L1		140
L2	標準柱	1960
	長柱	2360

④図を参照して、その他の部品を仮組みし、接着剤で固定してください。

はみ出した接着剤はきれいに取り除いてください。

⑤支柱側の縦樋を固定バンドで支柱に固定してください。

11 縦樋カバーの取付け（※オプション）

①スカイパス本体の施工説明書 [ME-1750] または [ME-1777] と同様の手順で、縦樋カバーを取付けてください。

参照ページ
・両支持 ⇒ ME-1750　27 ページ「11. 縦樋カバーの取付け」
・片支持 ⇒ ME-1777　31 ページ「11. 縦樋カバーの取付け」

■施工代理店様、販売店様へのお願い

●「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
●この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

株式会社LIXIL

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合せください。
お客様相談センター　0120-126-001